

平成 3 0 年 度  
事 業 報 告 書

自 平成 3 0 年 4 月 1 日

至 平成 3 1 年 3 月 3 1 日

# 目 次

〔Ⅰ〕概 要.....	1
〔Ⅱ〕組 織	
1. 機 構.....	3
2. 理事・監事・評議員・最高顧問.....	4
3. 会議記録.....	5
4. 委員会.....	6
1) 委員会の所管事項.....	6
2) 委員会委員.....	6
3) 委員会・部会 会議実績.....	8
5. 自動車教育推進協議会.....	9
〔Ⅲ〕事業活動	
1. 自動車技術教育支援事業.....	11
1) 機材提供活動.....	11
2) 教員支援活動.....	13
3) 協賛支援活動.....	14
4) 交流促進活動.....	14
2. 調査研究事業.....	16
1) 調査活動.....	16
2) 教材作成活動.....	18
3. 研修事業.....	19
1) 財団研修活動.....	19
2) 講師派遣活動.....	20
4. 普及啓発事業.....	21
1) 普及啓発活動.....	21
2) 広域普及啓発活動.....	23

〔IV〕 支援活動

- 1. 自動車技術教育関連イベントへの支援…………… 26
- 2. 研究会及び研究大会への支援…………… 26

〔V〕 組織運営

- 1. 理事・監事・評議員の異動…………… 27
- 2. 委員会・部会の効率的な運営…………… 27
- 3. 財務・経理の状況…………… 27

〔VI〕 庶務事項

- 1. 事務局体制…………… 28
- 2. 賛助会費・寄附金の状況…………… 28

※ 添付資料

- 【資料 1】 平成 30 年度講師派遣実績…………… 29
- 【資料 2】 平成 30 年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況…………… 39

## 〔I〕平成30年度 事業報告 概要

財団は、社会と自動車のより良い関係を形成するため、高等学校における自動車及び交通に関する教育への支援を行い、我が国の交通社会及び交通文化の健全な発展に寄与すべく、事業活動に取り組んでいる。平成30年度においては、自動車業界における新技術の進歩が目覚ましく、この自動車業界への注目が高まっている機をとらえ、高等学校に対する支援・情報提供の一層の強化を行った。

自動車技術教育（自動車技術に関する教育）については、高等学校における技術教育の維持・向上とさらなる普及を支えるために取り組んだ。自動車技術教育用教材の継続提供に対する高等学校からの強い要望に応えるため、広域公募を継続すると共に提供教材メニューの大幅な見直しを実施した。また、担当教諭の技術知識や指導能力向上を目的とした支援活動にも取り組み、指導員の派遣や指導教材の提供を適宜実施した。

交通社会教育（自動車及び交通と社会とのかかわりに関する社会教育）では、引き続き「交通」「環境」「交通安全」「自動車」の4テーマを中心に取り組んだ。これらに関する国内外の先進事例の調査を重ね、調査報告書や広報誌の特集記事に反映させ教育関係者へ展開した。また、先生方の関心が高い環境や安全に関する先進技術や交通安全等については、先生方を対象とした財団主催研修会の開催や、関係団体からの専門講師の派遣を行うなどして、高校における自動車や交通に関する教育を支援した。

### 1. 自動車技術教育支援事業

技術教育支援事業では、東北・中部・近畿地方の15府県309校を対象に、自動車技術教育用教材提供の公募を行い、15府県102校より応募があった。審査委員会にて厳正な審査・選考を行い、応募のあった全102校に、第一希望教材の提供を行った。教材調達コストは過去最大となる2,065万円となった。これで、平成3年からの提供校累計は1,914校となった。また、担当教諭の技術知識や指導能力向上支援の一環として、汎用エンジン提供校（22校）への取扱指導、電子制御エンジン提供校（7校）への解説DVDの提供、及び技術系の講師派遣（28件）を実施した。

更に、自動車技術教育を全国的に行っている団体である全国自動車教育研究会の研究大会への協賛支援を行った。また、自動車教育推進協議会と連携し、対象15府県全てにおいて教材贈呈式と教育懇談会を開催し、高等学校と自動車関係団体との自動車技術教育に関する交流促進と自動車教育の普及促進を図った。

調査研究事業では海外調査を2回、国内調査を3回実施した。海外においては、2040年までの内燃機関自動車の販売禁止の方針を打ち出したイギリス・フランスでの電動化の実態と、電気自動車の市場シェアが5割に達するノルウェーでの電動化の実態を調査した。また、国内においては、電動スクーターシェアリング、使用済バッテリーの再利用実態、高校生に対する二輪車「三不運動」見直しの実態を調査した。

この調査結果は、財団の事業報告紙である『JAEF REPORT』で報告するとともに、広報誌『Traffication（トラフィックेशन）』の特集記事や海外交通事情として記事化し、広く高等学校への展開を

行なった。また今後導入が見込まれる科目「公共」用の新たな副教材の制作に着手した。

### 3. 研修事業

研修事業では、JAEF 研修会（財団主催の研修会）を栃木、埼玉、神奈川、静岡、大阪、兵庫の6府県で合計6回開催した結果、173名の高校教諭が受講し、参加者から大変高い評価を得た。

また、講師派遣活動（地域主催研修会への支援）においては、全国の高等学校を対象に広域公募活動を行った結果、講師派遣件数は320件に達した。また受講した教職員と生徒の合計は113,384名となった。受講対象を生徒に拡大した環境技術と交通技術に関する講師派遣は16件（前年度0件）にのぼりメニュー改善の効果が見られた。一方で交通安全に関する講師派遣は自然災害等の影響でキャンセル増、申し込み見合わせにより前年を下回った。

### 4. 普及啓発事業

普及啓発事業では、全国の高等学校（約5,900校）を対象とした広報誌『Traffi-Cation』を3回発行し、高等学校における自動車教育に対する理解促進と財団活動に対する認知向上に努めた。同誌の高校教諭に対する個別提供の拡大を進め、同誌のさらなる普及拡大に努めた。

さらに、広域普及啓発活動として、ホームページ、ニュースリリース（『JAEF NEWS』）、定期事業報告紙（『JAEF REPORT』）等の多様なメディア展開を図り、広く世間に対して自動車教育並びに財団活動に関する情報発信を行った。特に、財団ホームページや支援メニューチラシについては、事業展開に合わせて適宜更新を行うなど、タイムリーな情報発信を心掛けた。

### 5. 組織運営について

平成30年度の財団事業は、第16回理事会（平成30年3月15日開催）にて承認された平成30年度事業計画及び平成30年度収支予算に基づき、展開された。

具体的な事業展開に際しては、各委員会・部会での検討を経て、効率的な展開を心がけた。これらの会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

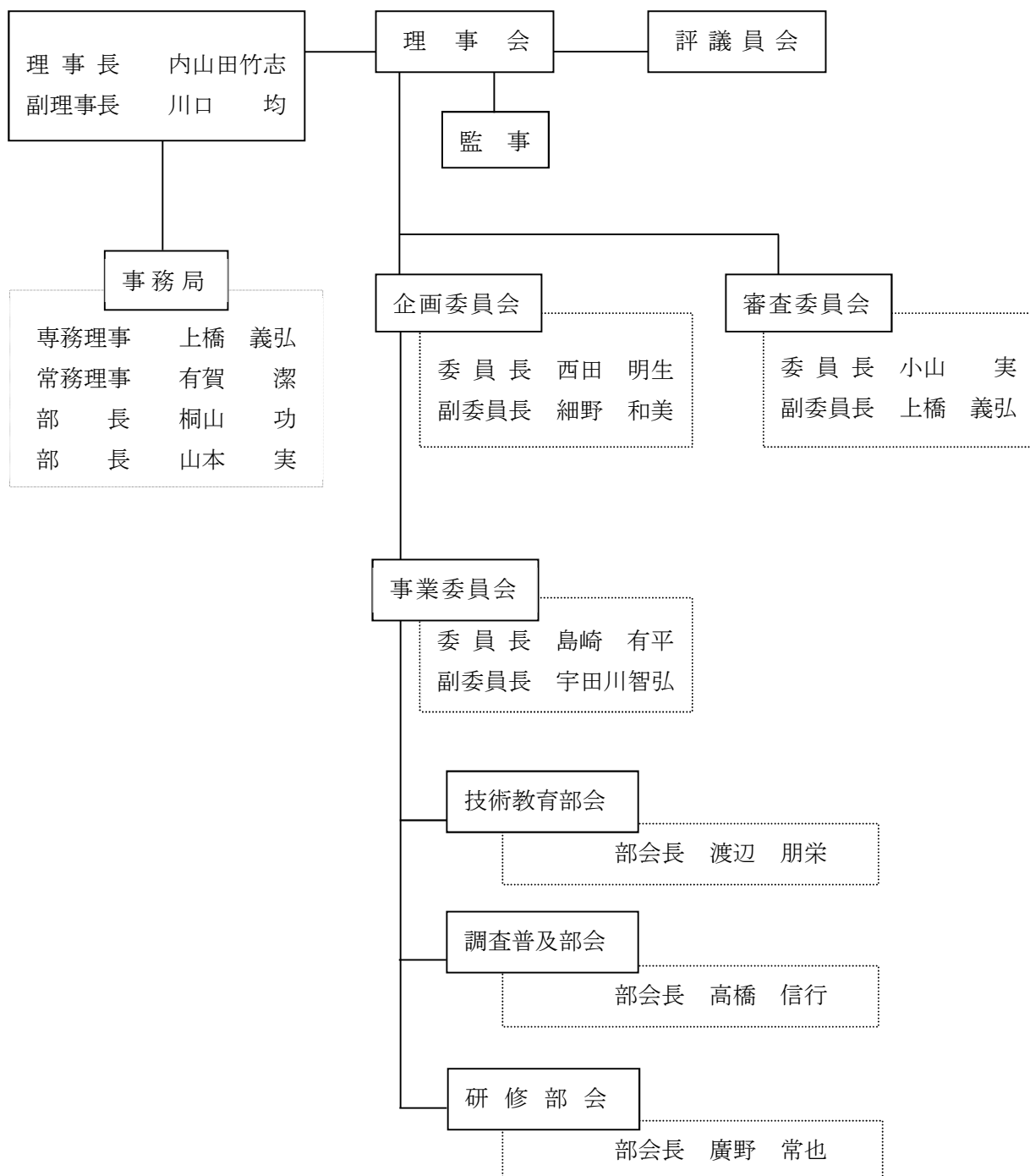
収支に関しては、収入は基本財産運用益並びに受取会費、受取寄附金により前年度並みの7,479万円となった。支出では、事業規模の維持・充実と運営の効率化・適正な費用管理に努め前年並みの7,394万円となり、最終的な収支全体は若干の黒字となった。

## 〔Ⅱ〕組織

### 1. 機構

平成 31 年 3 月 31 日現在

敬称略



2. 理事・監事・評議員・最高顧問

[平成 31 年 3 月 31 日現在]

(敬称略)

理事長	内山田 竹 志	[トヨタ自動車(株)]	代表取締役会長
副理事長	川 口 均	[日産自動車(株)]	専務執行役員兼付研機(株)
理事	永 塚 誠 一	[(社)日本自動車工業会]	副会長・専務理事
理事	平 井 敏 文	[(社)日本自動車販売協会連合会]	副会長・専務理事
理事	木 場 宣 行	[(社)日本自動車整備振興会連合会]	専 務 理 事
理事	久 米 正 一	[(社)日本自動車連盟]	専 務 理 事
理事	徳 永 泉	[(社)全国軽自動車協会連合会]	専 務 理 事
理事	伊 東 祐 次	[(社)日本損害保険協会]	常 務 理 事
理事	長 田 利 彦	[(公)全国工業高等学校長協会]	顧 問
専務理事	上 橋 義 弘	[(公)日本自動車教育振興財団]	事 務 局 常 勤
常務理事	有 賀 潔	[(公)日本自動車教育振興財団]	事 務 局 常 勤

(以上 11 名)

監 事	矢 野 義 博	[(社)日本自動車工業会]	理 事・事 務 局 長
監 事	山 崎 幸 雄	[山崎幸雄税理士事務所]	代 表

(以上 2 名)

評 議 員	上 村 肇	[全国高等学校長協会]	事 務 局 長
評 議 員	仁井田 孝 春	[全国総合学科高等学校長協会]	理 事 長
評 議 員	佐々木 哲	[(公)全国工業高等学校長協会]	理 事 長
		[全国自動車教育研究会]	会 長
評 議 員	大 山 敏	[全国公民科・社会科教育研究会]	会 長
評 議 員	柳 田 昌 宏	[(社)日本自動車機械工具協会]	会 長
評 議 員	武 藤 孝 弘	[(社)日本中古自動車販売協会連合会]	専 務 理 事
評 議 員	半 田 茂	[(財)日本自動車研究所]	専 務 理 事
評 議 員	中 島 哲	[(社)日本自動車会議所]	専 務 理 事
評 議 員	井 坂 智 夫	[(財)日本自動車査定協会]	専 務 理 事
評 議 員	鈴 木 欣 也	[(社)自動車公正取引協議会]	専 務 理 事
評 議 員	小 林 健 二	[日本自動車輸入組合]	副理事長兼専務理事
評 議 員	佐々木 誠	[(公)自動車製造物責任相談センター]	常 務 理 事
評 議 員	吉 田 量 年	[(社)日本自動車車体工業会]	専 務 理 事
評 議 員	西 脇 尚 澄	[(財)自動車検査登録情報協会]	専 務 理 事
評 議 員	鎌 田 聡	[(公)国際交通安全学会]	専 務 理 事
評 議 員	小 室 知 彦	[東京海上日動火災保険(株)]	常 務 執 行 役 員
評 議 員	水 口 敦 志	[損害保険ジャパン日本興亜(株)]	常 務 執 行 役 員
評 議 員	今 西 啓 之	[三井住友海上火災保険(株)]	専 務 執 行 役 員
評 議 員	緒 方 由 貴 夫	[あいおいニッセイ同和損害保険(株)]	執 行 役 員
評 議 員	寺 谷 公 良	[本田技研工業(株)]	執行役員日本本部長
評 議 員	小 飼 雅 道	[マツダ(株)]	代表取締役会長

(以上 21 名)

最高顧問	豊 田 章 一 郎
最高顧問	小 枝 至

### 3. 会議記録

#### 1) 第17回 理事会

- (1) 日 時 平成30年5月15日(火) 12:00~12:50
- (2) 場 所 芝パークホテル 別館アイリス
- (3) 議 案 ①平成29年度事業報告及び決算について  
②第7回定時評議員会開催について
- (4) 報 告 ①平成30年度事業進捗状況の報告

#### 2) 第7回 定時評議員会

- (1) 日 時 平成30年6月4日(月) 16:30~17:00
- (2) 場 所 芝パークホテル 別館ローズ
- (3) 議 案 ①議長選出  
②議事録署名人選出  
③平成29年度事業報告および決算について  
④評議員の一部選任について

#### 3) 決議の省略による書面での理事会

- (1) 議 案 ①評議員辞任につき後任候補者選任の件  
②理事辞任につき後任候補者選任の件  
③臨時評議員会の件
- (2) 提案日 平成30年6月27日(水)
- (3) 決議のあったものとみなされる日 平成30年7月11日(水)

#### 4) 決議の省略による書面での評議員会

- (1) 議 案 ①評議員辞任につき後任者選任の件  
②理事辞任につき後任者選任の件
- (2) 提案日 平成30年7月12日(木)
- (3) 決議のあったものとみなされる日 平成30年7月26日(木)

#### 5) 第18回 理事会

- (1) 日 時 平成31年3月12日(火) 12:00~13:00
- (2) 場 所 芝パークホテル 別館アイリス
- (3) 報 告 ①2018年度事業進捗状況の報告
- (4) 議 案 ①2019年度事業計画及び収支予算について  
②今後の理事会・評議員会開催日程について



## 4. 委員会

### 1) 委員会の所管事項

#### (1) 企画委員会

理事会に提案する事項並びに理事会より委託を受けた事項。その他、財団事業運営の基本に関わる事項

#### (2) 審査委員会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業のうち、実習用機材・機械・工具等の提供に関し、具体的な対象校・対象内容について審査・選考する事項

#### (3) 事業委員会

定款第4条に定める事業の企画・立案・推進および調整に関する事項  
事業委員会の任務を遂行するために下記の部会を設ける

##### ①技術教育部会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業に関する事項

##### ②研修部会

定款第4条(2)に定める高等学校及び教諭を対象とした研修会の開催と講師派遣事業に関する事項

##### ③調査普及部会

定款第4条(3)に定める国内外の交通実態に関する調査研究と情報提供事業、並びに同条(4)に定める自動車教育の普及事業に関する事項

### 2) 委員会委員

平成31年3月31日現在

(五十音順 敬称略)

#### (1) 企画委員会 (9名)

委員長	西田 明生	[トヨタ自動車(株)]	渉外広報部 国内渉外室長]
副委員長	細野 和美	[日産自動車(株)]	渉外部 担当部長]
委員	池田 毅	[三井住友海上火災保険(株)]	理事自動車営業推進部長]
委員	岩見 将文	[マツダ(株)]	渉外調査部 主幹]
委員	大沼 伸子	[三菱自動車工業(株)]	総務渉外部 エキスパート]
委員	忽那 武史	[あいおいニッセイ同和損害保険(株)]	自動車保険部長]
委員	志鶴 光俊	[東京海上日動火災保険(株)]	自動車営業開発部長]
委員	中川 淳一	[本田技研工業(株)]	渉外部 担当部長]
委員	山下 敦志	[損害保険ジャパン日本興亜(株)]	自動車営業推進部長]

#### (2) 審査委員会 (7名)

委員長	小山 実	[日本工業大学]	前教授]
副委員長	上橋 義弘	[(公財)日本自動車教育振興財団]	専務理事]
委員	加藤 秀次	[日本工業大学]	特認教授]
委員	栗田 博康	[(公財)東京都中小企業振興公社]	総合支援部 企業人材支援課]
委員	島崎 有平	[(一社)日本自動車販売協会連合会]	常務理事]
委員	西田 明生	[トヨタ自動車(株)]	渉外広報部 国内渉外室長]
委員	山田 勝彦	[(公社)全国工業高等学校長協会]	事務局長]

(3) 事業委員会 (7名)

委員長	島崎 有平	〔(一社)日本自動車販売協会連合会	常務理事〕
副委員長	宇田川智弘	〔(一社)日本損害保険協会	生活サービス部長〕
委員	稲垣 昇	〔(一社)日本自動車連盟	交通環境部部長〕
委員	海老澤 勲	〔(一社)全国軽自動車協会連合会	管理部総務課長〕
委員	高橋 徹	〔(一社)日本自動車整備振興会連合会	教育・技術部 部長代理〕
委員	松本 行弘	〔(一社)日本自動車工業会	参与 総務統括部長〕
委員	山田 勝彦	〔(公社)全国工業高等学校長協会	事務局長〕

①技術教育部会 (8名)

部会長	渡辺 朋栄	〔三菱自動車工業(株) サービス本部サービスエンジニアリング部マネージャー〕
副部会長	清水 讓二	〔日産自動車(株) TCSX 国内サービス部 サービス技術渉外〕
委員	亀井 哲治	〔マツダ(株) 国内営業本部 法人営業部 アシスタントマネージャー〕
委員	木村 壮一	〔東京都立総合工科高等学校 機械・自動車科 教諭〕
委員	黒田 卓也	〔トヨタ自動車(株) 国内サービス部 総括室 東京サービスグループ〕
委員	杉野 栄一	〔東京都立六郷工科高等学校 オートモビル工学科 教諭〕
委員	田島 良英	〔本田技研工業(株) 日本営業本部お客様部サービス人材育成課 課長〕
委員	山本 義章	〔(一社)日本自動車機械工具協会 校正企画部 企画課 係長〕

②調査普及部会 (8名)

部会長	高橋 信行	〔(一社)日本自動車工業会 業務統括部 副統括部長〕
副部会長	中野 浩二	〔トヨタ自動車(株) 渉外広報部 国内渉外室 グループグループマネージャー〕
委員	奥 英昭	〔(一社)日本損害保険協会 生活サービス部 啓発・教育グループ担当課長〕
委員	小林 義信	〔(一社)日本自動車会議所 理事〕
委員	竹村 公一	〔SOMPO リスクマネジメント(株) 自動車コンサルティング事業部部長〕
委員	仲 信之	〔成蹊高等学校 教諭〕
委員	宮崎 三喜男	〔東京都立国際高等学校 教諭〕
委員	渡邊 崇志	〔東京海上日動火災保険(株) 自動車営業開発部 部長〕

③研修部会 (8名)

部会長	廣野 常也	〔(一社)日本自動車整備振興会連合会 調査企画部 部長〕
副部会長	宮腰 直人	〔(一社)日本自動車連盟 交通環境部 事業推進課長〕
委員	安部 敬	〔東京都立小松川高等学校 公民科教諭〕
委員	石井 隆也	〔専門学校 日産横浜自動車大学校 校長〕
委員	原 淳一郎	〔(一社)全国軽自動車協会連合会 二輪業務部 部長〕
委員	樋川 明則	〔(一社)日本損害保険協会 生活サービス部 啓発教育グループリーダー〕
委員	松岡 誠	〔本田技研工業(株) 渉外部 担当部長〕
委員	八木橋 稔之	〔(一社)日本自動車販売協会連合会 法務部 部長〕

### 3) 委員会・部会 会議実績

#### (1) 企画委員会

①平成30年度第1回 平成30年5月8日(火) 13:00~14:00

- 議題 ①第17回理事会提案資料について  
②第7回定時評議員会提案資料について

②平成30年度第2回 平成30年11月7日(水) 14:00~15:00

- 議題 ①平成30年度上期財団事業進捗状況について

③平成30年度第3回 平成31年2月27日(水) 13:00~14:00

- 議題 ①第18回理事会提案資料について

#### (2) 審査委員会

①第7回 平成30年8月3日(金) 12:00~14:00

- 議題 ・平成30年度自動車教育用「教材」支援事業の審査選考  
(支援対象校及び支援内容の決定)

※上記委員会開催実績における開催回は、公益財団法人移行後(平成24年4月~)の通算回数を表記した。

#### (3) 事業委員会

①平成30年度第1回 平成30年11月1日(木) 15:00~16:00

- 議題 ①平成30年度上期財団事業進捗状況について

②平成30年度第2回 平成31年2月26日(火) 13:00~14:00

- 議題 ①2018年度事業進捗状況及び2019年度事業計画(案)について

#### (4) 技術教育部会

①平成30年度第1回 平成30年5月18日(金) 15:30~17:00

- 議題 ①平成29年度 自動車教育用教材活用状況について  
②平成30年度 自動車教育用教材メニュー(案)について  
③平成30年度 技術系講師派遣について

②平成30年度第2回 平成30年7月23日(月) 15:30~17:00

- 議題 ①平成30年度 教材提供活動 応募状況について  
②平成30年度 審査委員会 提案内容について  
③平成30年度 技術系講師派遣応募・実施状況について

③平成30年度第3回 平成30年10月29日(月) 16:00~17:00

- 議題 ①平成30年度 技術教育支援事業の進捗について  
②平成30年度 技術系講師派遣活動の進捗について

④平成30年度第4回 平成31年2月25日(月) 15:30~17:30

- 議題 ①2018年度 財団事業進捗及び2019年度事業計画(案)について  
②2019年度 技術教育支援事業計画(案)について  
③2019年度 技術系講師派遣活動計画(案)について

(5) 調査普及部会

①平成30年度第1回 平成30年10月18日(木) 15:00~16:30

- 議題 ①平成30年度 調査研究事業の進捗状況について  
②国内調査・研究 実施方法変更について(案)  
③平成30年度 普及啓発事業の進捗状況について

②平成30年度第2回 平成31年2月15日(金) 15:00~16:30

- 議題 ①2019年度 財団事業計画(案)について  
②2019年度 調査研究事業計画(案)について  
③2019年度 普及啓発事業計画(案)について

(6) 研修部会

①平成30年度第1回 平成30年10月23日(火) 15:00~16:30

- 議題 ①平成30年度 研修事業上期進捗状況について

②平成30年度第2回 平成31年2月18日(月) 15:00~16:30

- 議題 ①2019年度 財団事業計画(案)について  
②2019年度 研修事業計画(案)について

5. 自動車教育推進協議会

各都道府県の自動車販売店協会、自動車整備振興会、日本自動車連盟支部、軽自動車協会、日本損害保険協会支部(一部地域は中古自動車販売協会を含む)により、47都道府県において自動車教育推進協議会が設置され、各県の高等学校を対象とした自動車教育の推進に取り組んでいる。

同推進協議会は独立した自主的組織として独自の活動に取り組む一方、全国組織である自動車教育財団と連携し、各都道府県における教材贈呈式及び教育懇談会の開催、研修会への専門講師派遣、自動車教育イベントへの協賛支援等に取り組んでいる。

「自動車教育推進協議会」設置状況一覧表

平成31年3月31日現在

名 称	設置年月日 (平成)	会 長	事 務 局	
			事務局長	所在地 (連絡先)
1 北海道自動車教育推進協議会	13. 1.10	中 島 好 美	福 田 昇	札幌市東区北28条東1-2-3 札幌自動車会館 (Tel. 011-753-5162)
2 青森県自動車教育推進協議会	8. 5.17	小 野 大 介	石 川 善 孝	青森市奥野1-12-3 (Tel. 017-776-4211)
3 岩手県自動車教育推進協議会	14. 3.20	渡 邊 康 喜	山 口 正	紫波郡矢巾町流通センター南2-8-3 (Tel. 019-637-2881)
4 宮城県自動車教育推進協議会	12.11. 1	後 藤 誠	菊 池 憲 満	仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県交通会館 (Tel. 022-232-1571)
5 福島県自動車教育推進協議会	12.12. 1	佐 藤 修 朗	菊 地 邦 幸	福島市吉倉字名倉1-1 (株)福自販会館 (Tel. 024-546-1664)
6 秋田県自動車教育推進協議会	12.11. 1	三 浦 廣 巳	佐々木 俊 幸	秋田市八橋大畑2-12-55 (Tel. 018-862-1117)
7 山形県自動車教育推進協議会	12.11. 1	小 関 眞 一	鏡 道 宏	山形市大字漆山字行段1422 (Tel. 023-686-4521)
8 新潟県自動車教育推進協議会	13.11. 1	遠 藤 佳 彦	小 林 正 美	新潟市中央区東出来島11-16 新潟県自動車会館 (Tel. 025-285-6286)
9 (一社)長野県自動車販売店協会	13. 5.23	宇都宮 進 一	五 明 利 雄	長野市大字高田字五分一沖679-10 長野県自動車会館 (Tel. 026-226-5416)
10 茨城県自動車教育推進協議会	14.10. 1	幡 谷 定 俊	市 川 昌 幸	水戸市住吉町292-5 茨城県自動車会館 (Tel. 029-247-4860)
11 栃木県自動車教育推進協議会	12.10.25	小 平 雅 久	鈴 木 忠 明	宇都宮市今宮2-4-6 栃木県自動車会館 (Tel. 028-658-8811)
12 群馬県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	大 山 駿 作	星 野 朗	前橋市野中町564 群馬自販会館 (Tel. 027-261-0830)
13 埼玉県自動車教育推進協議会	18.10. 1	茂 木 喜 明	塩 原 良 二	さいたま市西区大字中釘2255 (株)埼玉自販会館 (Tel. 048-623-1211)
14 千葉県自動車教育推進協議会	14. 4. 1	出 野 祥 平	櫻 井 義 彰	千葉市美浜区新港207 (Tel. 043-242-3321)
15 東京都自動車教育推進協議会	17.11.18	酒 井 信 也	高 橋 哲 哉	品川区西五反田4-32-9 東京日産西五反田ビル1号館3F (Tel. 03-3491-8241)
16 神奈川県自動車教育推進協議会	14.10. 1	上 野 健 彦	大 蔵 幸 雄	横浜市都筑区池辺町3663 神奈川県自販会館 (Tel. 045-933-3626)
17 山梨県自動車教育推進協議会	15. 5.30	佐々木 宏 明	興 石 光 彦	笛吹市石和町唐栢1000-7 山梨県自動車販売店会館 (Tel. 055-263-3001)
18 富山県自動車教育推進協議会	12.12. 1	黒 澤 敏	森 岡 富士夫	富山市新庄町字馬場18-8 富山県自販会館 (Tel. 076-425-8353)
19 石川県自動車教育推進協議会	12.12. 1	要 明 英 二	松 田 等	金沢市直江東2-122-1 石川県自動車販売店会館 (Tel. 076-238-5177)
20 福井県自動車教育推進協議会	12.12. 6	浮 田 啓 三	酒 井 定 雄	福井市西谷1-1401 福井県自動車会館 (Tel. 0776-34-1622)
21 岐阜県自動車教育推進協議会	17.10.24	村 瀬 洋 介	小 野 武	岐阜市日置江2648-2 岐阜自動車会館 (Tel. 058-279-3761)
22 静岡県自動車教育推進協議会	16. 2.18	杉 山 智 彦	平 川 君 男	静岡市駿河区国吉田2-4-35 静岡県自販会館 (Tel. 054-261-2177)
23 愛知県自動車教育推進協議会	15.10. 1	小 栗 一 朗	伊 藤 敏 男	名古屋市中川区昭和橋通4-8-2 愛知県自販会館 (Tel. 052-353-6161)
24 三重県自動車教育推進協議会	13. 3.10	岩 井 純 朗	福 田 泰 尚	津市雲出常町字六ノ割1190-1 三重県自動車会館 (Tel. 059-234-4567)
25 滋賀県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	山 中 隆 太 郎	井 戸 木 亘	守山市木浜町2299-12 滋賀県自販会館 (Tel. 077-585-7292)
26 京都府自動車教育推進協議会	14. 9. 1	森 川 莫 臣	小 寺 雅 夫	京都市伏見区竹田向代町51-5 京都自動車会館 (Tel. 075-671-6121)
27 大阪府自動車教育推進協議会	18.11. 1	堀 内 俊 樹	柳 田 重 利	寝屋川市高宮栄町13-1 (Tel. 072-821-5522)
28 兵庫県自動車教育推進協議会	13. 7. 1	西 川 博 之	木 村 淳 三	神戸市東灘区魚崎兵町33 兵庫県自動車会館 2F (Tel. 078-441-1501)
29 奈良県自動車教育推進協議会	15. 3. 1	菊 池 攻	辻 隆 範	大和郡山形市額田部比伊町981-8 奈良県自動車会館内 (Tel. 0743-56-8458)
30 和歌山県自動車教育推進協議会	12.11. 1	中 谷 久 生	大 蔵 留 治	和歌山市湊1106 和歌山県自動車会館 (Tel. 073-422-2027)
31 鳥取県自動車教育推進協議会	15. 4.14	米 原 良	俎 住 和 雄	鳥取市丸山町246-1 (Tel. 0857-24-6171)
32 島根県自動車教育推進協議会	14.11. 1	野々村 健 造	久保田 茂 実	松江市馬場町43-4 (Tel. 0852-37-0044)
33 岡山県自動車教育推進協議会	14.11. 1	梶 谷 俊 介	谷 本 博 志	岡山市北区富吉5301-8 (株)岡山県自動車会館2F (Tel. 086-259-3000)
34 広島県自動車教育推進協議会	11. 9. 1	岡 本 精 二	藤 原 弘 登	広島市西区観音新町4-13-13 広島県自動車会館 (Tel. 082-232-4418)
35 山口県自動車教育推進協議会	11. 3. 1	安 井 久 則	瀬 川 英 顕	山口市葵1-5-58 山口県自動車会館 (Tel. 083-922-0909)
36 徳島県自動車教育推進協議会	8.12.16	藤 村 実	武 田 耕 二	徳島市志摩町神産薬師地1-6 徳島県自動車会館 (Tel. 088-641-2665)
37 香川県自動車教育推進協議会	17. 1. 1	本 多 武 治	一 宮 軌 善	高松市香西東町278-1 (Tel. 087-881-4996)
38 愛媛県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	岡 豊	竹 葉 晃	松山市森松町1075-2 (Tel. 089-956-2747)
39 高知県自動車教育推進協議会	15. 7.29	西 山 忠 利	秋 山 教 二 郎	高知市大津乙1879-5 高知県自動車会館 (Tel. 088-866-6000)
40 福岡県自動車教育推進協議会	13.12. 1	金 野 誠	三 浦 俊 一	福岡市東区千早3-9-23 福岡交通会館 (Tel. 092-681-5963)
41 佐賀県自動車教育推進協議会	13. 8. 1	前 田 博 憲	本 村 修 紹	佐賀市若楠2-7-1 佐賀県自販会館 (Tel. 0952-31-1335)
42 長崎県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	円 田 浩 司	平 新 一 郎	長崎市中里町1576-7 長崎県自販連会館 (Tel. 095-839-2611)
43 熊本県自動車教育推進協議会	12.11. 1	齊 藤 直 信	川 畑 幸 広	熊本市東区東町4-14-8 熊本県自動車会館 (Tel. 096-365-0638)
44 大分県自動車教育推進協議会	10. 6.15	橋 本 仁	弥 田 達 美	大分市大津町3-4-13 大分交通会館1F (Tel. 097-558-7791)
45 宮崎県自動車教育推進協議会	15. 7.11	佐土嶋 恒 夫	中 武 光 博	宮崎市大字本郷北方字鶴尾2735-25 宮崎県自販会館 (Tel. 0985-51-8255)
46 鹿児島県自動車教育推進協議会	14. 3. 1	諏 訪 秀 治	町 田 昇 二	鹿児島市谷山港2-4-9 鹿児島県自動車会館 (Tel. 099-262-0011)
47 沖縄県自動車教育推進協議会	8. 2.14	野 原 朝 昌	平 良 幸 生	浦添市港川512-8 沖縄県自動車会館 (Tel. 098-877-5225)

## 【Ⅲ】 事業活動

### 1. 自動車技術教育支援事業

#### 1) 機材提供活動

公募に向けて、自動車技術教育用教材メニューは、視聴覚教材の大幅な見直し（区分統合）を実施し、自動車技術以外でも活用可能な教材や課題研究や部活での活用を狙った教材を新設し、既存メニューの一層の機能強化や充実を図った。

公募は、15 府県 309 校（全国工業高等学校長協会、全国総合学科高等学校長協会または全国自動車教育研究会に加盟している高校）を対象に実施し、102 校から応募申請があった。

これらの応募申請について、8 月 3 日に開催した審査委員会での厳正な審査・選考の結果、15 府県、102 校の全ての高校に第一希望の自動車技術教育用教材の提供を決定した。

なお、これらの教材の提供は、10 月～2 月にかけて各高校へ発送を行い、次年度以降、各校の教育現場にて活用いただく予定である。

#### (1) 平成 30 年度 自動車技術教育用教材メニュー 一覧

学習区分	記号	機 材 名	
視聴覚教材	1	自動車の基礎・電気	
	2	自動車の基礎とエンジンの作動	統合
	3	自動車の動力伝達・駆動・制動・走行装置の作動	統合
	4	自動車の電気・電子技術／モーター基礎実験セット	新設
	5	自動車と環境技術	
	6	eTOOLBOX ハイブリッド自動車編	
	7	動く掛図教材（4サイクル・2サイクル）	
	8	説明模型 4サイクルガソリンエンジン(EFI)	
	9	駆動用ギヤ学習セット	新設
初級教材	1 0	分解組立用エンジン（汎用・126cc）	変更
	1 1	分解組立用キャブレターエンジン	
	1 2	分解組立用電子制御エンジン（軽自動車）	
	1 3	分解組立用電子制御エンジン（小型車）	
	1 4	実習用工具セット	
	1 5	実習用工具トルクレンチ	変更
	1 6	急速充電器	
	1 7	低床型手動ジャッキ足踏付 2 t	
	1 8	エンジンスタンド簡易型	
中級教材	1 9	トレーニングサーキット	変更
	2 0	燃料電池実験キット	変更
	2 1	燃料電池システム（エコラン大会用）	新設
	2 2	ビデオスコープ	
	2 3	電装品（灯火器）シュミレーターボード	
上級教材	2 4	実車（中古車）	
	2 5	エンジン実習装置	
	2 6	スキャンツール（外部故障診断機）	

## (2) 応募及び審査結果

公募地域 (C地区)	青森、岩手、宮城、福島、茨城、静岡、愛知、岐阜、三重、滋賀、京都、 大阪、兵庫、奈良、和歌山 合計15府県 (対象校は309校)	
応募校数	15府県、102校	
支援校数	15府県、102校 (詳細は15頁の一覧表参照)	累計支援校数 1,914校 (平成3年からの累計数)

## (3) 自動車教育用教材活用報告書について

平成28年度に教材提供を受けた高校を対象に、平成29年度における自動車教育用教材の活用状況を集約した。その内容は活用報告書としてまとめ、技術教育部会にて報告すると共に、今後の教材提供活動の参考資料とした。

区分	教材名	提供校数	年間総使用 (平均)		
			生徒数	使用回数	使用日数
視聴覚	1 自動車の基礎・電気	7	67	16	19
	2 自動車の機械基礎				
	3 エンジンの作動原理	1	7	2	2
	4 駆動・制動装置				
	5 動力伝達装置	3	83	24	39
	6 走行装置とかじ取り装置				
	7 ディーゼルエンジン燃料装置				
	8 視聴覚教材(自動車の電気・電子技術)				
	9 自動車の新技術	1	80	50	50
	10 eTOOLBOX ハイブリッド自動車編	2	158	10	10
	11 動く掛図教材(4サイクル・2サイクル)	1	34	8	8
初級	12 分解組立用エンジン(汎用・126cc)	24	47	19	21
	13 分解組立用キャブレターエンジン	5	57	20	27
	14 分解組立用エンジン(軽自動車)	4	31	11	18
	15 分解組立用エンジン(小型車)	6	62	26	32
	16 実習用工具セット	20	51	42	36
	17 実習用工具トルクレンチ	4	42	200	20
	18 急速充電器	4	73	48	29
	19 低床型手動ジャッキ足踏付 2t	1	80	76	21
	20 エンジンスタンド 簡易型				
中級	21 エンジンテスターセット				
	22 トランスミッション				
	23 電子ブロック実験装置	1	63	20	16
	24 燃料電池実験キット				
	25 ビデオスコープ	2	35	18	18
	26 電装品(灯火器)シミュレーターボード				
上級	27 実車(中古車)	2	116	45	55
	28 エンジン実習装置	3	53	30	50
	29 スキャンツール(外部故障診断機)	5	50	53	58
総計		96			

## 2) 教員支援活動

教材提供活動の一環として、汎用エンジン・分解組立用エンジン教材を提供した高校を対象に、授業での有効活用と教育効果を高めてもらうことを目的に「フォロー指導」を実施した。

汎用エンジンを提供した 22 校に対しては、教材納入時の 10 月～11 月に同エンジン製造メーカーの専門家が各提供校へ訪問し、エンジン教材の活用方法や安全管理等に関する指導教諭へのアドバイスをを行った。

また、分解組立用エンジンを提供した 7 校に対しては、教材納入時期に合わせて整備マニュアルと専門指導員による指導内容を撮影・編集した「分解・組立 DVD ビデオ」を提供した。

### (1) 訪問指導実施校

	高等学校名	
1	青森県立青森工業高等学校	10月26日
2	青森県立むつ工業高等学校	10月26日
3	岩手県立黒沢尻工業高等学校	10月26日
4	宮城県石巻工業高等学校	11月7日
5	宮城県古川工業高等学校 定時制	10月25日
6	福島県立福島工業高等学校	10月25日
7	福島県立川俣高等学校	10月26日
8	福島県立郡山北工業高等学校	10月25日
9	福島県立平工業高等学校	10月26日
10	茨城県立玉造工業高等学校	10月26日
11	静岡県立吉原工業高等学校	10月29日
12	静岡県立富岳館高等学校	10月22日
13	名古屋市立工芸高等学校	10月24日
14	愛知産業大学工業高等学校	10月24日
15	岐阜県立中津川工業高等学校	11月15日
16	三重県立四日市中央工業高等学校	11月15日
17	三重県立伊賀白鳳高等学校	11月15日
18	大阪府立西野田工科高等学校	11月2日
19	大阪府立淀川工科高等学校	11月1日
20	兵庫県立尼崎工業高等学校	11月1日
21	兵庫県立東播工業高等学校	11月1日
22	和歌山県立和歌山工業高等学校	11月2日

### (2) 「分解・組立 DVD ビデオ」の提供校

	学校名	実施日
1	茨城県立水戸工業高等学校	2月1日
2	滋賀県立八幡工業高等学校	1月22日
3	大阪府立今宮工科高等学校	12月10日
4	大阪市立都島工業高等学校	11月19日
5	兵庫県立兵庫工業高等学校	1月7日
6	兵庫県立飾磨工業高等学校	3月25日
7	奈良県立御所実業高等学校	12月11日



### 3) 協賛支援活動

協賛支援（助成金）活動として、下記の第 61 回全国自動車教育研究大会を助成した。

名 称	第 61 回全国自動車教育研究大会
主 催	全国自動車教育研究会
目 的	高等学校・高等専門学校 of 自動車関連学科における自動車教育に関わる教職員の資質向上と自動車教育の振興と発展を図る。
参加者	全国高等学校における自動車教育関係職員 約 90 名
開催時期	平成 30 年 11 月 29 日(木)～30 日(金) (於：福島県 会津若松市)
協賛金	1, 500, 000 円

### 4) 交流促進活動

自動車技術教育用教材の提供対象 15 府県については、全県で教材贈呈式及び教育懇談会を実施した。そこでは、教材提供を受けた高校の校長・担当教諭を始めとする教育関係者と、自動車教育推進協議会のメンバーによる、自動車技術教育の現状と課題についての熱心な情報交換が行われ、今後の自動車教育推進の参考となる実り多い会合となった。

(参加者の詳細は、38～44 頁の【資料 2】を参照)

[贈呈式・教育懇談会開催一覧]

地域	校数	開催日	開催場所	参加人数※2		
				協議会	学校	計
青森	4	10月10日	青森県自動車会議所	6	7	17
滋賀	3	10月17日	琵琶湖ホテル	8	6	15
宮城	10	10月31日	ホテルメトロポリタン仙台	9	13	23
大阪	15	11月2日	リーガロイヤルホテル大阪	8	26	35
兵庫	12	11月5日	ANAクラウンプラザホテル神戸	7	20	29
三重	8	11月6日	ホテルグリーンパーク津	5	16	23
奈良※1	3	11月13日	奈良県立王寺工業高等学校	3	7	11
福島	10	11月14日	株式会社 福自販会館	6	22	32
和歌山※1	1	11月14日	和歌山県立和歌山工業高等学校	2	6	9
岐阜	7	11月15日	岐阜キャッスルイン	6	13	21
静岡	9	11月21日	ホテルセンチュリー静岡	8	15	24
京都※1	2	11月26日	京都東急ホテル	3	5	10
茨城	6	11月28日	茨自販福祉センター	10	11	22
愛知	10	12月3日	キャッスルプラザ	7	17	26
岩手※1	2	12月5日	ホテルメトロポリタン盛岡	3	5	13
合計	102			91	189	310

※1 は簡易開催

※2 参加人数合計にはマスコミを含む

平成30年度  
自動車教育用教材提供校一覧表

府県名	学校名	機材名	府県名	学校名	機材名	
青森	1 青森県立青森工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）	岐	1 岐阜県立岐南工業高等学校	エンジン実習装置	
	2 青森県立弘前工業高等学校	自動車の基礎・電気		2 岐阜県立岐阜工業高等学校	実習用工具トルクレンチ	
	3 青森県立むつ工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）		3 岐阜県立岐阜工業高等学校 定時制	自動車の基礎とエンジンの作動	
	4 弘前東高等学校	実車（中古車）		4 岐阜県立多治見工業高等学校	実習用工具セット	
岩手	1 岩手県立黒沢尻工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）	岐	5 岐阜県立中津川工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）	
	2 岩手県立大船渡東高等学校	説明模型 4サイクルガソリンエンジン(EFI)		6 関市立関商工高等学校	実習用工具セット	
宮城	1 宮城県村田高等学校	スキャンツール（外部故障診断機）	三	7 岐阜第一高等学校	スキャンツール（外部故障診断機）	
	2 宮城県登米総合産業高等学校	実習用工具トルクレンチ		1 三重県立四日市工業高等学校	eTOOLBOXハイブリッド自動車編	
	3 宮城県黒川高等学校	スキャンツール（外部故障診断機）		2 三重県立四日市工業高等学校 定時制	スキャンツール（外部故障診断機）	
	4 宮城県気仙沼向洋高等学校	実車（中古車）		3 三重県立四日市中央工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）	
	5 宮城県工業高等学校	実習用工具セット		4 三重県立津工業高等学校	低床型手動ジャッキ足踏付 2t	
	6 宮城県白石工業高等学校	実習用工具セット		5 三重県立松阪工業高等学校	自動車の基礎とエンジンの作動	
	7 宮城県石巻工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）		6 三重県立伊勢工業高等学校	トレーニングサーキット	
	8 宮城県古川工業高等学校 定時制	分解組立用エンジン（汎用・126cc）		7 三重県立伊賀白鳳高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）	
	9 仙台市立仙台工業高等学校	実習用工具セット		8 三重県立尾鷲高等学校	自動車の基礎・電気	
	10 仙台市立仙台工業高等学校 定時制	実習用工具トルクレンチ		滋	1 滋賀県立瀬田工業高等学校	動く掛図教材（4サイクル・2サイクル）
1 福島県立福島工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）	2 滋賀県立長浜北星高等学校	実車（中古車）			
2 福島県立川俣高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）	3 滋賀県立八幡工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン（小型車）			
3 福島県立二本松工業高等学校	実習用工具トルクレンチ	京	1 京都府立田辺高等学校		スキャンツール（外部故障診断機）	
4 福島県立郡山北工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）		2 京都府立工業高等学校		実習用工具トルクレンチ	
5 福島県立清陵情報高等学校	自動車の電気・電子技術/モーター基礎実験セット	大	1 大阪府立福井高等学校		実車（中古車）	
6 福島県立塙工業高等学校	急速充電器		2 大阪府立西野田工科高等学校		分解組立用エンジン（汎用・126cc）	
7 福島県立平工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）		3 大阪府立淀川工科高等学校		分解組立用エンジン（汎用・126cc）	
8 福島県立勿来工業高等学校	動く掛図教材（4サイクル・2サイクル）		4 大阪府立今宮工科高等学校		分解組立用電子制御エンジン（小型車）	
9 福島県立ふたば未来学園高等学校	燃料電池実験キット		5 大阪府立茨木工科高等学校 定時制		eTOOLBOXハイブリッド自動車編	
10 福島県立小高産業技術高等学校	燃料電池実験キット		6 大阪府立藤井寺工科高等学校 定時制	自動車の動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動		
1 茨城県立高萩清松高等学校	実習用工具セット		7 大阪府立堺工科高等学校	スキャンツール（外部故障診断機）		
2 茨城県立水戸工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン（小型車）		8 大阪府立佐野工科高等学校	説明模型 4サイクルガソリンエンジン(EFI)		
3 茨城県立玉造工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）		9 大阪府立和泉総合高等学校	駆動用ギヤ学習セット		
4 茨城県立波崎高等学校	自動車の動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動		10 大阪府立和泉総合高等学校 定時制	トレーニングサーキット		
5 茨城県立江戸崎総合高等学校	自動車の動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動	11 大阪府立だいせん聴覚高等支援学校	実習用工具セット			
6 茨城県立八千代高等学校	スキャンツール（外部故障診断機）	12 堺市立堺高等学校 定時制	スキャンツール（外部故障診断機）			
静岡	1 静岡県立伊豆総合高等学校	実習用工具セット	兵	13 大阪市立都島工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン（軽自動車）	
	2 静岡県立御殿場高等学校	燃料電池システム（エコラン大会用）		14 大阪市立生野工業高等学校	実習用工具セット	
	3 静岡県立吉原工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）		15 星翔高等学校	自動車の基礎とエンジンの作動	
	4 静岡県立富岳館高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）		1 兵庫県立兵庫工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン（軽自動車）	
	5 静岡県立科学技術高等学校	燃料電池システム（エコラン大会用）		2 兵庫県立神戸工業高等学校	自動車の基礎とエンジンの作動	
	6 静岡県立小笠高等学校	駆動用ギヤ学習セット		3 兵庫県立尼崎工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）	
	7 静岡県立浜松城北工業高等学校	燃料電池システム（エコラン大会用）		4 兵庫県立武庫荘総合高等学校	自動車の動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動	
	8 静岡県立浜松湖北高等学校	燃料電池システム（エコラン大会用）		5 兵庫県立東播工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）	
	9 飛龍高等学校	スキャンツール（外部故障診断機）		6 兵庫県立姫路工業高等学校	急速充電器	
愛知	1 愛知県立春日井工業高等学校	実習用工具トルクレンチ	庫	7 兵庫県立飾磨工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン（小型車）	
	2 愛知県立小牧工業高等学校	エンジン実習装置		8 兵庫県立飾磨工業高等学校 多部制	実習用工具セット	
	3 愛知県立起工業高等学校	説明模型 4サイクルガソリンエンジン(EFI)		9 兵庫県立洲本実業高等学校	自動車の基礎・電気	
	4 愛知県立豊田工業高等学校	スキャンツール（外部故障診断機）		10 尼崎市立尼崎双星高等学校	自動車の動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動	
	5 名古屋市立工業高等学校	燃料電池実験キット		11 神戸市立神戸工科高等学校 定時制	実車（中古車）	
	6 名古屋市立工業高等学校 定時制	自動車の基礎とエンジンの作動		12 神戸村野工業高等学校	実車（中古車）	
	7 名古屋市立立芸高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）		奈	1 奈良県立奈良朱雀高等学校	説明模型 4サイクルガソリンエンジン(EFI)
	8 愛知工業大学名電高等学校	自動車の電気・電子技術/モーター基礎実験セット			2 奈良県立王寺工業高等学校	トレーニングサーキット
	9 愛知産業大学工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）			3 奈良県立御所実業高等学校	分解組立用電子制御エンジン（小型車）
	10 名古屋工業高等学校	急速充電器			1 和歌山県立和歌山工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用・126cc）

<府県別内訳>

青森 4校 岩手 2校 宮城 10校 福島 10校 茨城 6校 静岡 9校 愛知 10校  
岐阜 7校 三重 8校 滋賀 3校 京都 2校 大阪 15校 兵庫 12校 奈良 3校 和歌山 1校

合計 15府県 102校

## 2.調査研究事業

### 1) 調査活動

高校生・先生方のクルマに対する関心高揚や理解向上を図るべく、「交通」「環境」「交通安全」の3テーマを軸に、国内外の交通調査を実施し、情報収集とノウハウの蓄積に努めた。

#### (1) 海外調査の実施

2018年度は、電動化シフトに関わる動向をテーマとして、7月に2回調査を行った。第1回目は2040年までに内燃機関自動車の販売禁止の方針を打ち出したフランス、イギリスにて、目標達成に向けた取り組みの方向性や具体的な施策を、また第2回目は電動車両普及率世界一となっているノルウェーにおいて、高普及率実現のための方策をそれぞれ探ることで、わが国における今後の電動車普及拡大に向けた知見を得ることを目的として実施した。

第1回目のフランス、イギリスでは、電動化に関する政府当局への取材は生憎実現せず、自動車業界の新たな潮流“CASE”に関わる企業の動向等取材した。

フランスでは、カーシェアリング事業を運営する Renault Mobility 社、カーシェアリングシステムを開発する Vullog 社を訪ねた。

Renault Mobility 社は、Renault ディーラーの駐車場をステーションとして活用することで、週末は個人利用やディーラーでの試乗用として利用し、平日は法人向け需要を取り込み、シェアリング車両の有効活用を行っている。車両台数 3,500 台の内、電気自動車は 5%程度。政府が最大の株主である Renault 社においてすら、電気自動車を積極的に普及させていくとの気運に至っていないという印象を抱いた。Vullog 社は、一定エリア内であればどの路上パーキングでも乗捨可能な「フリーフローティング」型のカーシェアリングを実用化。現在のシェアリングサービスは、運営会社が車両もソフトウェアも両方手がけるものが多い中、Vullog 社はソフトウェア提供に特化し、各国の運営会社と連携しカーシェアを展開している点の特徴としている。

イギリスでは、独立系車両エンジニアリング・コンサルティング会社である Ricardo 社、及び車の乗り方の指導などの交通安全教育を行う機関 iAM RoadSmart にて取材を行った。

Ricardo 社は、自動運転分野で複数のプロジェクトに参加しており、トラックの隊列走行については 2023 年まで実証を行う計画に参画。隊列内に別の車両が割り込んでも通信可能な他、燃費が先行車追従車ともに向上することが確認されている。iAM RoadSmart は、英政府が認定する最大規模のドライバー教育機関で、スマホ用のアプリ等様々な教材を通じて学ぶことができる。合格者には自動車保険料の割引特典が有り、日本にはない独特の仕組みを知ることができた。

上述の訪問先によれば、電動化促進策詳細の公表を待っている状況であった。今回の視察の間、VW のディーゼルゲートを契機に電動車両に対する見方が変わってきたということを各所で耳にし、今回の電動化の波は国情によってそのスピードに差はあれ、逆戻りすることはないといえよう。

第2回目のノルウェーでは、電気自動車導入を推進するノルウェー電気自動車協会にて、電気自動車普及促進策取材した。現在、販売する乗用車及び小型商用車すべてを 2025 年までにゼロエミッション車とすることが目標とされている。この達成に向け、購入税及び付加価値税に加え、道路利用税や社用車の自動車税も免除されている。公営駐車場・有料道路・フェリー利用料金も無料とするなどインセンティブが充実している。充電インフラ整備も 2011 年以降強化されており、2015 年からは政府が数百億円を拠出している。この結果、2018 年 1-3 月期の電気自動車の販売シェアは 48%にも達した。国づくりの明確な方向性を示し、目標の達成に向け、関連する諸施策の実施を徹底する姿は学ぶべきところがあると思われた。

【海外調査の概要】

	第1回目	第2回目
日程	2018年7月5日(木)～11日(水)	2018年7月11日(水)～15日(日)
目的	2040年までの内燃機関自動車の販売禁止の方針を打ち出したイギリス・フランスにおいて、目標達成に向けた取り組みや具体的な施策を調査	電気自動車シェアが3割を超えているノルウェーにおいて、電気自動車普及促進策と今後の方向性を調査
調査先	イギリス、フランス	ノルウェー
調査の様子	 <p>▲ロンドン市街地に設置されている充電スポット</p>	 <p>▲オスロ市中心部にある防空壕跡をEV専用駐車場として利用</p>

(2) 国内調査の実施


国内の交通事情調査を3回実施。

第1回目は、4月に沖縄県石垣市で2018年2月に事業を開始した国内初の電動スクーターシェアサービス取材した。インバウンド客の多数を占め、電動スクーターに慣れ親しんでいる台湾からの旅行者や、原付自転車保有比率の高い(全国平均に比べ3倍以上)同市民への浸透を狙うも、貸出・充電ステーション等インフラ整備の遅れ、既存モビリティ(レンタバイク等)に対して競争力ある利用料金の設定等の課題が残る。但し、電動スクーターとしての静粛性や加速性能、バッテリー交換のし易さ等の強みがあるため、前述の課題解決に伴い、今後の普及拡大が期待できる。

第2回目は、8月に長崎県諫早市にある産業機器メーカー(株)日本ベネックス等取材した。世界的に電動化シフトが進む中、省資源の観点から経年劣化したバッテリーの二次活用が課題となっている。その対応策として、日産リーフ24台分の中古バッテリーを搭載した蓄電システムがある。電力需要ピーク時の補助電源になることから電気使用量の差が大きい商業施設、マンション等での活用が期待される。一方で、量産化にはバッテリーの仕様統一や同情報の公開が必要とされることから、関係省庁・業界団体による協調が求められる。

第3回目は、12月にバイクの三ない運動に関し、栃木、埼玉両県の教育委員会及び関連団体に取材を行った。1970年から80年代前半に全国的に三ない運動が広がったが、社会環境の変化に伴い、現在免許取得を禁止している自治体はごく一部に限られている。栃木県は以前から三ない運動を展開せず、交通安全教育を適切に実施した上で、バイクの免許取得・運転を認めていた。同県の高校生の交通事故死傷者・負傷者は減少を続けており、県交通安全協会が1972年から主催する高校生二輪車安全運転講習会がその大きく寄与しているとされる。他の自治体には三ない運動を見直して同様の講習会を実施したものの、中断しているケースもあるという。バイクの安全・適正利用の実現には、関連団体・組織による持続可能な推進組織の構築、連携強化が不可欠である。

【国内調査の概要】

	第1回目	第2回目	第3回目
日 程	4月18日(水)	8月23日(木)他	12月11日(火)他
目 的	太陽光充電バッテリーを交換する型の電動スクーターシェアサービスが2月に国内で初めて開始、地域活性化及び普及の可能性を探る	電動車両普及に伴い、使用済みバッテリーの有効利用(二次利用)が求められている。現在の対応、将来的な展望とその課題を調査	高校生に対する二輪車「三ない運動」が一部の県で見直しされる中、同運動の今後の方向性を探る
調査先	沖縄県石垣市	長崎県諫早市	栃木県、埼玉県
調査の様子	 <p>▲容易に脱着できるバッテリー</p>	 <p>▲リユースバッテリーを格納してあるコンテナ</p>	 <p>▲バイクの安全運転講習会の様子(財団の講師派遣を活用)</p>

2) 教材作成活動

(1) 記事の作成

海外調査の結果については、調査報告書を作成し財団の調査普及部会や企画委員会・事業委員会などで報告するとともに、財団業務報告紙(『JAEF REPORT』)にて財団関係者へ概要を報告した。また、広報誌『Traffi-Cation』の掲載記事「海外交通事情報告」(2ページもの)として記事化した。

国内調査の結果は広報誌『Traffi-Cation』の特集記事(5ページもの)として記事化した。

(2) 副教材の作成・提供

① 「公共」用新副教材の企画検討を開始

次期学習指導要領では、主権者として社会参画する力を育てるために社会科系の必修科目「公共」が2022年より導入される。これを踏まえ、授業展開により役立つ教材を企画・制作すべく、教育現場の先生に参画いただくプロジェクトを立ち上げた。2020年に初期版、2022年に改訂版の完成を計画しており、当年度は内容の企画検討に着手した。

② 既存副教材の提供

ホームページや広報誌、JAEF研修会、自動車教育用教材贈呈式などで、既存の『持続可能な社会づくりと自動車交通』、『自転車の交通安全』、『クルマを通じて社会を考える』、『くらしと交通安全』、『くらしと交通』シリーズ(Vol.1~Vol.5)、『くらしと地球環境』シリーズ(Vol.1~2)、『別冊 Traffi-Cation 国内交通事例特集』シリーズ(Vol.3、4)、および『別冊 Traffi-Cation 海外交通事情報告』シリーズ(Vol.3、4)の告知・提供を行なった。

この結果、平成30年度は約1,100冊の副教材を提供することができた。

### 3.研修事業

#### 1) 財団研修活動

文部科学省及び各開催都県の教育委員会の後援並びに各高等学校教育関係団体から協賛を得て、「環境・技術」・「交通安全」を研修テーマに JAEF 研修会（高等学校の教諭を対象に財団が主催する研修会）を、静岡、埼玉、栃木、神奈川、大阪、兵庫の府県で計 6 回開催した。高等学校教諭 173 名が参加し、参加者からは大変高い評価をいただくことができた。（参加者アンケートの「大変良い」と「良い」の合計の割合は 98%）

なお、平成 4 年から開催している同研修会の累計開催回数は 115 回、延べ参加者は 4,400 名を超えた。

#### 【平成 30 年度 J A E F 研修会開催実績】

回 実施日	会場	講演テーマ、講師及び見学施設	参加人数
第 1 回 8 月 1 日 (水)	トヨタ交通安全センター モビリティ (静岡県駿東郡)	【講演】「自分の運転の危険箇所を考える」 講師：(一社)日本自動車連盟 静岡支部 事業課 交通環境係長 永谷 和俊 氏 【体験】安全運転トレーニング (安全技術体験実習)	33 名
第 2 回 8 月 8 日 (水)	本田技研工業 (株) 寄居完成車工場 (埼玉県大里郡)	【講演】「技術開発の成功と失敗」 講師：Honda 社友 元本田技術研究所 主席研究員 工学博士 佐野 彰一 氏 【見学】寄居完成車工場見学	35 名
第 3 回 8 月 24 日 (金)	三菱ふそうトラック・バス(株) 喜連川研究所 (栃木県さくら市)	【講演】「三菱ふそうの大型車の最新安全技術と自動運転」 講師：三菱ふそうトラック・バス株式会社 開発本部 実験統括部 メカトロニクス開発部 マネージャー 川内 浩 氏 【見学】喜連川研究所見学・体験実習	27 名
第 4 回 8 月 30 日 (木)	日産自動車(株) グランドライブ (神奈川県横須賀市)	【講演】「日産の電動化と知能化の取り組み」について 講師：日産自動車株式会社 渉外部 シニアエンジニア 三崎 匡美 氏 課長 チウ・ピクトリア 氏 【体験】テストコースでの安全運転トレーニング実習 【見学】日産追浜工場見学	33 名
第 5 回 9 月 14 日 (金)	(株)シマノ 本社工場 (大阪府堺市)	【講演】「自転車の最新事情」について 講師：株式会社シマノ バイシクルコンポーネンツ事業部 企画部文化推進担当専門部長 神保 正彦 氏 【講演】「自転車安全教育に流れ始めた新潮流」 講師：NPO自転車活用推進研究会 理事 藤本 典昭 氏 【見学】シマノ本社工場見学 自転車博物館見学	23 名
第 6 回 10 月 2 日 (火)	神戸ポートピアホテル 神戸国際展示場 (兵庫県神戸市)	【講演】「EV は明治維新」 講師：一般社団法人日本EVクラブ 代表理事 館内 端 氏 【見学】EV S 3 1 & EV T e C 2 0 1 8 の見学 (第 31 回国際電気自動車シンポジウム&EV 技術国際会議 2018)	22 名
合 計			173 名

## 2) 講師派遣活動

学校関係団体が主催する研修会、及び高等学校が生徒を対象に開催する講習会等への講師派遣活動について、例年どおり全国公募を実施した。講師派遣メニューでは「二輪車（バイク）の交通安全」を新設したほか、「環境技術」「交通技術」に関しては生徒対象の研修会も講師派遣の対象とした。その結果、45 都道府県で 320 回の講師派遣が実施され、延べ 113,384 人の先生および生徒が参加した。参加者は、3年連続で 10 万人超えとなったものの、自然災害等の影響により派遣件数、参加人数は前年度を下回った。

320 回の内訳は、テーマ別には自動車技術教育 28 回、交通社会教育 292 回で、新設の「二輪車（バイク）の交通安全」が 2 件、「環境技術」「交通技術」が 16 件（前年度 0 件）であった。

講師は研修テーマに合わせて、関係団体・企業の専門家等を派遣しているが、本年度は 320 回中 302 回について日本自動車連盟支部、日本損害保険協会支部、自動車整備振興会、自動車販売会社といった地元講師の協力を受けた。（詳細は、29～38 頁【資料 1】を参照）

【平成 30 年度講師派遣メニューと派遣件数】

区分	ジャンル	研修メニュー	派遣講師 (派遣団体・企業)	派遣件数 (回)	参加人数
自動車技術教育	自動車の最新技術 [講演型]	① トヨタ・ハイブリッド車について	トヨタ系ディーラー	5	246
		② 日産・電気自動車について	日産系ディーラー	12	607
		③ ホンダ・ハイブリッド車について	ホンダ系ディーラー	7	406
		④ マツダ・SKYACTIV エンジンについて	マツダ	0	0
		⑤ 三菱・プラグインハイブリッド車について	三菱自動車工業	2	46
	自動車の整備技術 [体験型]	⑥ ガソリンエンジンの分解・組立	整備振興会	0	0
		⑦ トランスミッションの分解・組立	整備振興会	1	6
		⑧ 電子制御エンジンの構造と点検・整備	整備振興会	1	11
自動車技術教育 計				28	1,322
交通社会教育	環境技術	⑨ 地球温暖化防止と自動車技術	自動車関係団体他	9	567
	交通技術	⑩ 次世代の自動車・交通技術と社会のあり方	自動車関係団体他	7	500
	交通安全	⑪ ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟	68	28,367
		⑫ 自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟	129	53,026
		⑬ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	12	1,797
		⑭ 交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会	24	6,535
		⑮ 自転車を巻き取るリスクとその責任	日本損害保険協会	41	21,240
⑯ 二輪車(バイク)の交通安全 ～高校生のための Safety Riding	日本二輪車普及安全協会	2	30		
交通社会教育 計				292	112,062
全体 合計				320	113,384

#### 4. 普及啓発事業

##### 1) 普及啓発活動

###### (1) 広報誌『Traffi-Cation』の発行

高校教諭を対象とする普及啓発活動の一環として、広報誌『Traffi-Cation』を下表の通り3回発行し、全国の高等学校（約5,900校）や定期送付希望の先生方（平成31年3月時点で1,018名）へ提供した。

###### 【『Traffi-Cation』発行状況】

番号	発行日	タイトル・内容
No.48 夏号	30.7.15	<ul style="list-style-type: none"> <li>*特集 「石垣市に見る持続可能な街づくり ～国内初 バッテリー交換式電動スクーターシェアの導入～」</li> <li>*交通安全トピックス 「危ない！ 自転車の傘さし運転」</li> <li>*海外交通事情報告 第48回 「“ZEV 導入の先駆者” カリフォルニア州にみる普及促進の取り組み」</li> <li>*人、クルマ、そして夢。 第17回 「国による衝突安全ブレーキの認定制度」</li> <li>*日本自動車教育振興財団からのお知らせ(財団支援内容の紹介)</li> </ul>
No.49 秋号	30.10.15	<ul style="list-style-type: none"> <li>*特集 「電動車両バッテリーの再利用 ～電動車両普及に向けた もうひとつのカギ～」</li> <li>*交通安全トピックス 「ドライブレコーダーの映像が自転車の違反の手がかりに」</li> <li>*海外交通事情報告 第49回 「アメリカ カリフォルニア州で進む“究極のエコカー” 燃料電池車普及に向けた動き」</li> <li>*人、クルマ、そして夢。 第18回 「MaaS に対応した自律自動運転車両」</li> <li>*日本自動車教育振興財団からのお知らせ(財団支援内容の紹介)</li> </ul>
No.50 春号	31.3.15	<ul style="list-style-type: none"> <li>*特集 「バイク『三ない運動』見直しの広がり ～高校生の“自主自律”精神育成の一助に～」</li> <li>*交通安全トピックス 「自転車で走ってはいけない場所」</li> <li>*海外交通事情報告 第50回 「自動車業界に押し寄せる“CASE” 英、仏での実用化・事業化の動き」</li> <li>*人、クルマ、そして夢。 第19回 「先進安全技術の普及は3つの柱」</li> <li>*日本自動車教育振興財団からのお知らせ(財団支援内容の紹介)</li> </ul>



No.48 夏号



No.49 秋号



No.50 春号



(2) 『Traffi-Cation』の提供先

全国高等学校へのサンプル提供（春号）のほか、定期読者（3月末現在定期読者数1,018名）への提供を行った。

<定期読者>

・継続要望者 3,153部

<サンプル提供先>

・社会科系研究会参加者に対する直接配布 150部  
（全国公民科・社会科教育研究会全国大会、他）

・JAEF研修会・贈呈式参加者等に対する直接配布 600部

・学校名簿に基づく広域展開（学校宛配送） 5,944部

（全国約5,900校の社会科系および生徒指導担当教諭等）

\*小計 9,847部

<参考提供先>

・報道関係者(ニュースリリース配送先) 150部

・財団関係者(JAEF REPORT 配送先) 1,566部

\*小計 1,716部

\*合計 11,563部

## 2) 広域普及啓発活動

### (1) マスコミ向けの「財団事業計画説明会」の開催

第7回定時評議員会における、平成29年度事業報告並びに平成30年度事業計画の承認を受けて、同会議の翌日（6月5日）日本自動車会館 くるまプラザ会議室において、恒例となった「財団事業計画説明会」を実施した。自動車・損保・教育関係専門紙誌が対象で、参加者は12名であった。

### (2) 「ニュースリリース」の発行

前年度に引き続き、報道機関向けのニュースリリース『JAEF NEWS』をタイムリーに発行（年間23回）した。

#### 【『JAEF NEWS』発行状況】

番号	発行日	タイトルと内容
No. 701	30. 6. 5	平成30年度定時評議員会を開催
No. 702	30. 7. 10	「平成30年度第1回 JAEF 研修会」を開催 (トヨタ交通安全センター モビリティ)
No. 703	30. 7. 17	「平成30年度第2回 JAEF 研修会」を開催 (Honda 寄居完成車工場)
No. 704	30. 8. 3	平成30年度 自動車技術教育用教材の提供校を決定
No. 705	30. 8. 3	「平成30年度第3回 JAEF 研修会」を開催 (三菱ふそうトラック・バス喜連川研究所)
No. 706	30. 8. 9	「平成30年度第4回 JAEF 研修会」を開催 (日産自動車追浜試験場グランドライブ)
No. 707	30. 8. 24	「平成30年度第5回 JAEF 研修会」を開催 (シマノ本社工場)
No. 708	30. 9. 11	「平成30年度第6回 JAEF 研修会」を開催 (神戸ポートピアホテル)
No. 709	30. 9. 18	青森県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 710	30. 9. 25	滋賀県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 711	30. 10. 11	宮城県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 712	30. 10. 11	大阪府にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 713	30. 10. 15	兵庫県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 714	30. 10. 15	三重県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 715	30. 10. 23	奈良県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 716	30. 10. 23	福島県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 717	30. 10. 23	和歌山県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 718	30. 10. 23	岐阜県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 719	30. 10. 23	静岡県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 720	30. 11. 5	京都府にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 721	30. 11. 5	茨城県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 722	30. 11. 12	愛知県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 723	30. 11. 12	岩手県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催

(3) 広報媒体（ホームページ、パンフレット、JAEF 支援メニュー）の充実・活用

広域普及媒体であるホームページやパンフレットにより財団活動の周知活動を行った。ホームページコンテンツをタイムリーに更新した他、閲覧者にとって分かりやすい表示を採用するなど実施した。



ホームページ トップ画面



財団パンフレット

また、先生向けの財団による支援メニューを具体的かつ手軽に告知できるようにした『JAEF 支援メニュー【平成 30 年度版】』チラシも改訂・活用し、先生方への財団活動告知に努めた。



(4) 『JAEF REPORT』の発行

関係者向けの財団事業報告紙として『JAEF REPORT』(A4判・4頁・カラー)を定期的(4・7・10・1月の年4回)に発行した。直近の財団活動実績や今後の行事予定などを、財団関係者へ分かりやすく伝える情報媒体として定着している。

また、『JAEF REPORT』をホームページでも公開し、財団活動の幅広い理解促進を図った。

【『JAEF REPORT』発行状況】

番号	発行日	タイトル・内容
No.237	H30. 4. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 第16回理事会を開催、平成30年度事業計画・予算を承認</li> <li>★ 平成29年度講師派遣：件数・人数とも過去最多を更新</li> <li>★ 平成30年度講師派遣募集開始</li> <li>★ 平成30年度自動車教育用教材の公募予定</li> <li>★ 平成29年度第2回海外交通事情調査を実施 (米国：ロサンゼルス、サンバーナーディーノ他)</li> <li>★ 副教材「持続可能な社会づくりと自動車交通」を作成</li> </ul>
No.238	H30. 7. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 第17回理事会・第7回評議員会を開催</li> <li>★ 平成30年度事業計画説明会を開催</li> <li>★ 平成30年度 JAEF 研修会の参加者を募集</li> <li>★ 41都道府県の研修会(194件)に講師を派遣</li> <li>★ 平成30年度自動車技術教育用材提供へ102校から応募</li> </ul>
No.239	H30.10. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 平成30年度自動車教育用教材の提供対象校・内容を決定</li> <li>★ 平成30年度第1回～第5回 JAEF 研修会を開催</li> <li>★ 28都道府県(64件)の研修会に講師を派遣</li> <li>★ 自動車技術教育を支援</li> <li>★ 平成30年度海外交通事情調査を実施(英、仏、ノルウェー)</li> </ul>
No.240	H31. 1. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 新年のご挨拶</li> <li>★ 15都道府県で教材贈呈式を開催</li> <li>★ 平成30年度第6回 JAEF 研修会を開催</li> <li>★ 各部会・委員にて平成30年度上期活動状況を報告</li> <li>★ 30都道府県(53件)の研修会に講師を派遣</li> </ul>



#### 〔Ⅳ〕 支援活動

##### 1. 自動車技術教育関連イベントへの支援

前年度に引き続き、高校生が参加する全国イベント3件及び県別イベント5件に支援を実施した。なお、その内の5件は、地元の自動車教育推進協議会と連携し合同で支援を行なった。

	イベント名称	開催日	開催地	主催者	協賛支援内容	
					財団	協議会
全国イベント	第25全国ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山	8/4	石川	石川県	協賛金	賞状・盾授与
	第18回高校生ものづくりコンテスト全国大会	11/17～18	東海	全国工業高等学校長協会	協賛名義	
	2018 エコデンレース全国大会	11/23	大阪	全国自動車教育研究会	協賛金	
県別イベント	三重県工業高校生フェア	8/26・28	三重	三重県高等学校工業教育研究会	協賛金	協賛金
	2018 長野県高校生 交通安全CMコンテスト	10/220	長野	長野県交通事故ゼロチャレンジ実行委員会	協賛金	協賛金
	第20回沖縄県高等学校エコデンレース大会	10/9	沖縄	沖縄県工業教育研究会	協賛金	協賛金
	平成30年度燃料電池車エコラン大会	11/3・10	静岡	静岡県工業高等学校長会	協賛名義	協賛名義
	第26回静岡県高校生エコラン大会	11/3	静岡	静岡県工業高等学校長会	協賛金	協賛金

##### 2. 研究会及び研究大会への支援

前年度に続き、高校教諭を会員とする研究会活動を対象に、3件の支援を実施した。

	支援対象	実施日	支援先	協賛支援内容	
				財団	協議会
研究会支援	「全公社研紀要」への広告掲載	—	全国公民科・社会科教育研究会	協賛広告	
	平成30年度研究会活動費	—	東京都高等学校公民科「倫理」「現代社会」研究会（都倫研）	協賛金	
	「全総会報」への広告掲載	—	全国総合学科高等学校長協会	協賛広告	

## 〔V〕 組織運営

### 1. 理事・監事・評議員の異動

所属団体での異動による一部評議員の退任及び理事・監事の任期満了に伴い、平成 30 年 6 月 4 日（月）に開催された第 7 回定時評議員会において評議員の一部選任が行われ、4 名の退任評議員の後任として 4 名の新評議員が一部選任された。

なお、第 7 回定時評議員会終了後に、所属団体における異動による退任（評議員 1 名、理事 1 名）が発生したため、決議の省略による理事会並びに評議員会を開催し、後任の評議員及び理事の一部選任が行われた。

### 2. 委員会・部会の効率的な運営

委員会・部会の運営にあたっては、その機能を十分に発揮できるよう心がけた。

会議の開催状況は、企画委員会 3 回、審査委員会 1 回、事業委員会 2 回、技術教育部会 4 回、調査普及部会 2 回、研修部会 2 回となっている。

### 3. 経理・財務の状況

関係団体からのご支援による賛助会費及び寄附金と、国債並びに仕組預金等の運用による基本財産運用益が主な収入である。平成 30 年度は、仕組預金の早期償還もなく、計画通りの利金を得ることができ、前年並みの収入となった。支出面においては、事業内容の充実に取り組みながらも、運営の効率化・費用管理に努め、前年並みに抑えた。これにより、収支バランスは若干の黒字となった。

## 〔VI〕 庶務事項

### 1. 事務局体制

- ・平成31年3月31日現在の業務分担は以下のとおりである。

役 職	氏 名	担当業務	担当会議
専務理事	上橋 義弘	事業統括、事務局統括 (調査研究事業)	理事会・評議員会 企画委員会、事業委員会
常務理事	有賀 潔	調査研究事業、普及啓発事業、 経理・財務、システム	調査普及部会 (理事会・評議員会)
部 長	桐山 功	技術教育支援事業	審査委員会、技術教育部会
部 長	山本 実	研修事業 総務	研修部会 (理事会・評議員会)
職 員	下野 尚美	(経理、総務、研修)	(研修部会)
職 員	佐藤江里花	(調査、普及啓発、システム)	(調査普及部会)
職 員	山内しのぶ	(技術教育、総務)	(企画委員会、事業委員会) (審査委員会、技術教育部会)

※ ( ) 内は副担当としてのアシスト業務を示す

### 2. 賛助会費・寄附金の状況

- ・平成30年度の賛助会費・寄附金は以下の通りである。

<賛助団体名>	<金 額>
・(一社) 日本自動車工業会	35,000 千円
・(一社) 日本損害保険協会	2,400 千円
・(一社) 日本自動車販売協会連合会	4,800 千円
・(一社) 日本自動車連盟	1,200 千円
・(一社) 日本自動車会議所	600 千円
・(一社) 全国軽自動車協会連合会	1,200 千円
・(一社) 日本中古自動車販売協会連合会	600 千円
・(一社) 日本自動車整備振興会連合会	600 千円
・(一財) 自動車検査登録情報協会	600 千円
合 計	47,000 千円

<寄附団体名>	<金 額>
・(一社) 日本自動車機械工具協会	6,000 千円
合 計	6,000 千円

以 上

【資料1】平成30年度講師派遣実績

1. 自動車技術教育

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		人数
1	栃木	県立矢板高等学校	4/4	③ホンダハイブリッド車について	株式会社 ホンダカーズ栃木 サービス部長	熊久保 波夫	110
2	福岡	県立八女工業高等学校	5/1	③ホンダハイブリッド車について	HC福岡(株) サービス部	野中栄史郎	88
3	長崎	県立島原工業高等学校	4/16	③ホンダハイブリッド車について	株式会社 ホンダ四輪販売長崎 本村課長 主事	矢野 聖二	48
4	神奈川	川崎市立川崎総合科学高等学校	4/23	③ホンダハイブリッド車について	株式会社 ホンダクリオ共立 営業企画室 次長	平岡 天明	32
5	山形	創学館高等学校	4/24	②日産・電気自動車について	山形日産自動車 店舗支援部 サービスグループ 係長	浅野 綾翔	43
6	長崎	県立島原工業高等学校	4/16	②日産・電気自動車について	長崎日産株式会社 営業支援 部	田島 令士	90
7	広島	広島市立広島工業高等学校	4/9	②日産・電気自動車について	広島日産自動車 サービス部	島埜 智広	40
8	長崎	県立島原工業高等学校	4/16	①トヨタ・ハイブリッド車について	長崎トヨペット株式会社 サービス本部	浦川 好一郎	48
9	宮城	県立古川工業高等学校	4/17	③ホンダハイブリッド車について	㈱ホンダカーズ宮城中央 営業部サービス課主任	針生 憲太郎	74
10	岡山	県立勝間田高等学校	4/10	②日産・電気自動車について	日産サテリオ岡山 店舗支援 部	中塚 一郎	37
11	神奈川	神奈川県 工業部会	5/31	⑤三菱PHEV車について	三菱自動車工業 サービス技術サポート部	正木 博	8
12	岡山	県立勝間田高等学校	4/10	⑧トランスミッションの分解・組立	岡山県自動車整備振興会 事業部	赤木 晴彦	11
13	埼玉	県立春日部工業高等学校	4/18	②日産・電気自動車について	サイニチホールディングス 人材開発部	浜野 正裕	40
14	茨城	県立江戸崎総合高等学校	7/17	①トヨタ・ハイブリッド車について	茨城トヨタ自動車 サービス部技術科	古賀 一光	24
15	埼玉	県立春日部工業高等学校	7/26	②日産・電気自動車について	サイニチホールディングス 人材開発部	浜野 正裕	40
16	茨城	県立江戸崎総合高等学校	7/17	③ホンダハイブリッド車について	セキショウホンダ(株) サービス部長	三坂 政明	24
17	北海道	札幌琴似工業高等学校	3/12	⑦電子制御エンジンの構造と点検・整備	札幌地方自動車整備振興会 相談教育部 課長	加茂 仁信	6
18	群馬	県立桐生工業高等学校	3/7	①トヨタ・ハイブリッド車について	群馬トヨペット 総合企画室	登丸 高志	80
19	広島	広島市立広島工業高等学校	4/9	②日産・電気自動車について	広島日産自動車 サービス部	島埜 智広	39
20	新潟	新潟県中央工業高等学校	6/11	②日産・電気自動車について	日産自動車株式会社 エリアパフォーマンスマネー ジャー	島村 盛幸	110
21	愛知	名古屋工業高等各校	8/6	②日産・電気自動車について	愛知日産自動車株式会社 サービス部課長	森 広治	50
22	山形	村山産業高等学校	9/20	②日産・電気自動車について	山形日産自動車 店舗支援部 サービスグループ 係長	浅野 綾翔	27
23	大阪	府立堺工科高等学校	4/18	②日産・電気自動車について	近畿日産(株) アフターセールス部 主担	布谷 修久	29
24	奈良	県立奈良朱雀高等学校	7/19	②日産・電気自動車について	近畿日産株式会社 サービス 技術支援部 担当部長	川畑 利彦	62
25	香川	坂出工業高等学校	11/22	①トヨタ・ハイブリッド車について	香川トヨタ自動車株式会社 サービス部	加藤 亮介	24
26	東京	六郷工科高等学校	11/9	③ホンダハイブリッド車について	株式会社ホンダカーズ東京中 央 桜新町テクニカルセンター	上野 浩一	30
27	兵庫	県立洲本実業高等学校	6/5	⑤三菱PHEV車について	三菱自動車工業 サービス技術サポート部	正木 博	38
28	東京	墨田工業高等学校	5/28	①トヨタ・ハイブリッド車について	東京トヨペット 駒込テクニカル研修センター	稲垣 啓二	70
自動車技術教育計							1,322



## 2. 交通社会教育

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)	参加人数
1	富山	富山高専専門学校本郷キャンパス	4/6	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・北陸支部 大平 敏	282
2	長野	県松本工業高等学校	4/6	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部 金子 公一	209
3	東京	都立小松川高等学校	4/9	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部 谷 宗一郎	330
4	東京	大森学園高等学校	4/9	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部 園部 拓海	350
5	長野	県松本県ヶ丘高等学校	4/10	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部 金子 公一	320
6	大阪	府立布施高等学校	4/10	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部 川部 隆夫	320
7	埼玉	西武台高等学校	4/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部 本木 昌造	1,599
8	静岡	藤枝順心高等学校	4/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・静岡支部 永田 泰裕	160
9	埼玉	春日部共栄高等学校	4/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部 小林 宗博	598
10	山形	県立谷地高等学校	4/11	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山形支部 柏倉 保	350
11	北海道	深川西高等学校	4/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・旭川支部 後藤 博行	368
12	福岡	県立太宰府高等学校	4/12	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・九州支部 新富 正昭	900
13	広島	県立安芸南高等学校	4/12	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・中国支部 国好 雅夫	600
14	高知	高知市立高知商業高等学校①	4/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・高知支部 岩木 一晃	280
15	高知	高知市立高知商業高等学校②	4/12	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・四国支部 小塚 照夫	279
16	高知	高知市立高知商業高等学校③	4/12	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・高知支部 岩木 一晃	282
17	福島	県立石川高等学校	4/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部 富澤 亮人	76
18	静岡	県立静岡西高等学校	4/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・静岡支部 永田 泰裕	240
19	埼玉	県立南稜高等学校	4/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部 井平 高史	1,093
20	兵庫	県立阪神昆陽高等学校①	4/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・兵庫支部 岡田 裕己	130
21	兵庫	県立阪神昆陽高等学校②	4/13	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・兵庫支部 岡田 裕己	55
22	大阪	初芝立命館高等学校	4/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部 大野 芳久	338
23	熊本	県立第一高等学校	4/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・熊本支部 前川 憲司	379
24	山梨	県立甲府昭和高等学校	4/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山梨支部 丹澤 英之	240
25	山梨	県立甲府昭和高等学校2	4/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山梨支部 丹澤 英之	240
26	兵庫	県立播磨農業高等学校	4/16	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・近畿支部 寺島 史剛	120
27	愛知	県立幸田高等学校	4/16	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・愛知支部 寺本 浩	698
28	沖縄	県立西崎特別支援学校	4/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・沖縄支部 新里 稔	100
29	滋賀	滋賀学園高等学校	4/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・滋賀支部 生田 真	240
30	群馬	県立赤城特別支援学校	4/17	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・群馬支部 佐藤 明日香	4
31	北海道	剣淵高等学校	4/18	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・旭川支部 後藤 博行	98
32	東京	都立足立新田高校	4/18	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部 園部 拓海	279
33	青森	県立六戸高等学校	4/18	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・青森支部 中園 浩二	187
34	山形	山形県立酒田東高等学校	4/18	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山形支部 柏倉 保	620
35	青森	県立野辺地高等学校	4/19	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・青森支部 中園 浩二	264
36	宮崎	県立高城高等学校	4/19	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・宮崎支部 竹内 真一	355

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
37	鹿児島	県立鹿児島高等特別支援学校	4/19	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・鹿児島支部	白濱 純洋	122
38	栃木	県立宇都宮白楊高等学校	4/19	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部	河野 和亘	850
39	千葉	船橋市立船橋高等学校	4/19	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・南関東支部	梶原 太	1,213
40	岩手	県立釜石祥雲支援学校高等部	4/20	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岩手支部	青木 順哉	37
41	青森	県立金木高等学校	4/20	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・青森支部	中園 浩二	100
42	秋田	県立大曲農業高等学校太田分校	4/20	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰	59
43	静岡	県立島田高等学校	4/23	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・中部支部	村上 昇	340
44	北海道	長万部高等学校	4/23	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・函館支部	中者 善元	80
45	愛知	県立一宮高等学校	4/23	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	1,100
46	鹿児島	県立山川高等学校	4/23	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・鹿児島支部	白濱 純洋	120
47	神奈川	県立生田高等学校	4/23	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田 恭司	380
48	栃木	県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園	4/23	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・栃木支部	田村 鋭夫	300
49	山形	市立商業高等学校	4/24	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・東北支部	平島 正	844
50	群馬	県立桐生南高等学校	4/24	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野 賢次	505
51	兵庫	育英高等学校	4/25	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・近畿支部	橋本 昇	297
52	高知	土佐女子中学高等学校	4/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・香川支部	岩木 一晃	652
53	福島	県立白河実業高等学校	4/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	富澤 亮人	699
54	長野	県小諸高等学校	4/25	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・長野支部	金子 公一	620
55	岩手	県立盛岡峰南高等支援学校	4/25	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・東北支部	中村 昭仁	120
56	奈良	県立西の京高等学校	4/25	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・奈良支部	竹ノ内 英介	1,000
57	青森	県立鯉ヶ沢高等学校	4/25	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・青森支部	中園 浩二	87
58	北海道	美唄尚栄高等学校	4/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	山本 洋平	214
59	茨城	県立結城第二高等学校	4/25	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	野間口 拓実	30
60	秋田	県立栗田支援学校	4/26	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰	62
61	長野	東海大学付属諏訪高等学校	4/26	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・北関東支部	田邊 智哉	937
62	北海道	月形高等学校	4/26	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	山本 洋平	90
63	群馬	県立伊勢崎高等学校	4/26	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野 賢次	953
64	群馬	県立伊勢崎清明高等学校	4/26	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野 賢次	730
65	愛知	市立名東高等学校	4/26	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	1,130
66	富山	県立富山東高等学校	4/26	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・富山支部	林 宏二	770
67	兵庫	神戸市立葺合高等学校	4/27	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・兵庫支部	岡田 裕己	100
68	福井	県立美方高等学校	4/27	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福井支部	伊藤 鉄平	156
69	茨城	県立鹿島高等学校	4/27	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	野間口 拓実	890
70	長野	県駒ヶ根工業高等学校	4/27	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・北関東支部	田邊 智哉	360
71	群馬	県立高崎女子高等学校	4/27	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野 賢次	971
72	北海道	津別高等学校	4/27	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・北海道支部	荒川 昌一	100

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
73	福島	県立会津学鳳高等学校	4/27	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	富澤 亮人	709
74	東京	都立多摩科学技術高等学校	5/1	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部	高木 孝	600
75	福島	県立長沼高等学校	5/1	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・東北支部	平島 正	144
76	京都	府立工業高等学校	5/1	地球温暖化防止と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	次世代自動車復興センター	荻野 法一	77
77	新潟	県立正徳館高等学校	5/1	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・新潟支部	梨本 信栄	110
78	東京	都立篠崎高等学校2	5/1	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・南関東支部	白石 沙織	280
79	東京	都立篠崎高等学校3	5/1	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	中村 仁義	280
80	群馬	県立前橋商業高等学校	5/1	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野 賢次	957
81	山口	萩光塩学院中学校・高等学校	5/2	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山口支部	宮崎 秀広	184
82	岩手	県立盛岡第三高等学校	5/2	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岩手支部	青木 順哉	880
83	岐阜	岐阜女子高等学校	5/7	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋 義典	376
84	愛知	県立岡崎西高等学校	5/7	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	1,157
85	静岡	県立静岡西高等学校	5/7	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・静岡支部	永田 泰裕	236
86	大阪	東大阪大学柏原高等学校①	5/7	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野 芳久	240
87	兵庫	県立北はりま特別支援学校	5/8	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・兵庫支部	岡田 裕己	64
88	北海道	名寄高等学校	5/8	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・旭川支部	後藤 博行	378
89	福島	県立大沼高等学校	5/8	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部	富澤 亮人	287
90	岩手	県立種市高等学校	5/9	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・東北支部	菅野 福雄	215
91	北海道	女満別高等学校	5/9	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・札幌支部	佐々木 純	63
92	岐阜	県立各務原高等学校	5/9	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋 義典	901
93	大阪	府立阪南高等学校	5/10	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	280
94	大阪	府立藤井寺高等学校	5/10	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・近畿支部	寺島 史剛	300
95	長野	岩村田高等学校	5/10	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部	金子 公一	650
96	宮城	県柴田農林高等学校川崎校	5/10	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・宮城支部	佐藤 達朗	80
97	栃木	県立石橋高等学校	5/11	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・北関東支部	河野 和亘	766
98	北海道	浜頓別高等学校	5/11	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・旭川支部	後藤 博行	163
99	山梨	県立甲府西高等学校	5/11	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山梨支部	丹澤 英之	750
100	宮城	県名取北高等学校	5/11	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	山崎 清美	845
101	福島	県立新地高等学校	5/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	富澤 亮人	80
102	三重	県立朝明高等学校	5/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・三重支部	江崎 俊哉	740
103	北海道	留辺蘂高等学校	5/15	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・北見支部	佐々木 純	64
104	秋田	県立秋田南高等学校	5/15	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	泉 寿和	950
105	岡山	明誠学院高等学校	5/15	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岡山支部	建部 拓	514
106	長野	県松本養護学校分教室	5/15	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・長野支部	金子 公一	27
107	東京	都立府中高等学校	5/16	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・南関東支部	須藤 滋	870
108	福島	県立川俣高等学校	5/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	富澤 亮人	135

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
109	千葉	県立柏の葉高等学校	5/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・千葉支部	永山 栄司	980
110	北海道	奈井江商業高等学校	5/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	山本 洋平	104
111	宮城	県石巻好文館高等学校	5/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・宮城支部	渋谷 輝明	596
112	岐阜	県立恵那特別支援学校	5/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋 義典	15
113	福島	県立福島南高等学校	5/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	富澤 亮人	601
114	静岡	県立掛川西高等学校	5/17	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	永田 泰裕	325
115	北海道	霧多布高等学校	5/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	内藤 裕孝	98
116	神奈川	県立瀬谷西高等学校	5/18	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田 恭司	740
117	岐阜	県立岐阜豊学校	5/21	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋 義典	42
118	愛知	県立新城高等学校	5/21	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	454
119	青森	県立八戸高等学校	5/21	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・青森支部	中園 浩二	750
120	愛知	県立半田農業高等学校	5/22	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	603
121	福岡	大牟田高等学校	5/22	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福岡支部	大坪 航平	810
122	滋賀	県立玉川高等学校	5/23	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・中部支部	山本 武弘	950
123	静岡	県立吉原工業高等学校	5/23	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・中部支部	鈴木 文明	49
124	静岡	県立榛原高等学校	5/24	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・中部支部	村上 昇	240
125	福島	県立いわき総合高等学校	5/24	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	富澤 亮人	210
126	長野	県野沢北高等学校	5/24	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部	金子 公一	630
127	東京	全国自動車教育研究会	5/24	地球温暖化防止と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	次世代自動車復興センター	荻野 法一	30
128	埼玉	県立三郷高等学校	5/24	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	小林 宗博	238
129	福島	県立西郷支援学校	5/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	富澤 亮人	70
130	長崎	県立桜が丘特別支援学校	5/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長崎支部	小林 輝彦	80
131	熊本	県立人吉高等学校	5/25	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・熊本支部	前川 憲司	854
132	愛知	県立春日井高等学校	5/28	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・中部支部	村上 昇	955
133	群馬	県立大泉高等学校	5/29	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野 賢次	474
134	福岡	県公立古賀寛成館高等学校	5/29	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福岡支部	佐藤 勇夫	667
135	岡山	県立岡山操山高等学校	5/29	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岡山支部	建部 拓	895
136	福井	県立勝山高等学校	5/30	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・北陸支部	田内 幸雄	123
137	福岡	県立浮羽工業高等学校	5/30	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	佐藤 勇夫	530
138	大阪	東大阪大学柏原高等学校 ②	5/30	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	240
139	埼玉	武南高等学校	5/30	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	井平 高史	469
140	北海道	今金高等養護学校	5/30	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・札幌支部	中者 善元	105
141	秋田	県立秋田北鷹高等学校	5/30	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰	642
142	熊本	県立八代東高等学校	5/30	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・九州支部	高橋 俊史	422
143	長野	県立望月高等学校	5/31	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・長野支部	金子 公一	134
144	群馬	県立下仁田高等学校	5/31	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・青森支部	星野 賢次	160

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
145	千葉	県立長生高等学校	5/31	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・南関東支部	北澤 一保	960
146	岐阜	県立岐阜各務野高等学校	6/1	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・岐阜支部	大橋 義典	795
147	愛知	県立城北つばさ高等学校定時制	6/1	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	94
148	高知	県産業教育研究会工業部会	6/1	交通技術と社会のあり方(自動運転の現状と課題)	NAC	西村 直人	70
149	愛知	県立津島北高等学校	6/4	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	747
150	秋田	県立横手城南高等学校	6/5	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	堀内 忍	520
151	大阪	箕面学園高等学校	6/5	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	山田 弘美	482
152	福島	県立郡山支援学校	6/5	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部	富澤 亮人	17
153	山形	県立酒田西高等学校定時制	6/6	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山形支部	柏倉 保	44
154	茨城	智学館中等教育学校	6/6	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	野間口 拓実	210
155	青森	県立五所川原農林高等学校	6/8	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・青森支部	中園 浩二	404
156	島根	県立松江養護学校乃木校舎	6/8	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・島根支部	伊藤 昇	16
157	神奈川	県立平塚商業高等学校	6/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	和田 俊司	198
158	新潟	県立高田北城高等学校	6/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・新潟支部	梨本 信栄	846
159	神奈川	横浜富士見丘学園中等教育学校	6/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田 恭司	300
160	福島	県立只見高等学校	6/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	富澤 亮人	135
161	秋田	秋田市立御所野学院高等学校	6/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰	139
162	愛知	県立犬山南高等学校	6/14	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	740
163	愛知	県立安城農林高等学校	6/14	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	828
164	福島	郡山女子大学附属高等学校	6/15	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福島支部	富澤 亮人	412
165	島根	県立松江養護学校乃木校舎	6/15	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・中国支部	国好 雅夫	18
166	山形	県立新庄神室産業高等学校	6/15	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山形支部	柏倉 保	140
167	静岡	県立西武特別支援学校	6/18	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・静岡支部	永田 泰裕	95
168	埼玉	叡明高等学校	6/18	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	本木 昌造	551
169	京都	府立鴨沂高等学校	6/20	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・京都支部	石田 幸弘	240
170	千葉	県立船橋啓明高等学校	6/20	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・南関東支部	中村 仁義	1,000
171	福島	県立安積高等学校御館校	6/20	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	富澤 亮人	69
172	愛知	県立丹羽高等学校	6/21	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	940
173	長崎	県立島原工業高等学校	6/22	地球温暖化防止と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	次世代自動車復興センター	荻野 法一	50
174	徳島	県立徳島聴覚支援学校	6/22	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・四国支部	齋藤 利幸	30
175	福島	県立いわき翠の杜高等学校	6/22	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・福島支部	田代 秀之	15
176	静岡	県立静岡西高等学校	6/25	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・中部支部	村上 昇	206
177	埼玉	叡明高等学校	6/25	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	本木 昌造	652
178	秋田	県立矢島高等学校	6/27	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰	110
179	熊本	県立第一高等学校	6/27	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・九州支部	前野 哲郎	380
180	北海道	有朋高等学校	6/27	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	鈴木 健二郎	130

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
181	北海道	富良野緑峰高等学校	6/28	地球温暖化防止と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	次世代自動車復興センター	荻野 法一	67
182	沖縄	県立首里高等学校	6/29	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・沖縄支部	前里 清光	1,200
183	山口	県立周防大島高等学校	6/29	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山口支部	宮崎 秀広	222
184	群馬	県立富岡実業高等学校	6/29	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野 賢次	360
185	佐賀	県立太良高等学校	7/2	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・佐賀支部	山口 徹	190
186	高知	県立大方高等学校	7/3	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・四国支部	齋藤 利幸	130
187	北海道	岩見沢東高校定時制	7/3	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	鈴木 健二郎	21
188	新潟	県立五泉高等学校	7/4	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・新潟支部	梨本 信栄	720
189	茨城	県立潮来高等学校	7/4	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・茨城支部	野間口 拓実	480
190	福岡	県立筑後特別支援学校	7/5	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福岡支部	庄司 恭博	144
191	埼玉	山村国際高等学校	7/10	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	井平 高史	970
192	沖縄	県立石川高等学校	7/10	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・沖縄支部	前里 清光	455
193	大阪	府立岸和田高等学校	7/11	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・近畿支部	隅田 清	336
194	群馬	県立前橋東高等学校	7/11	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・群馬支部	星野 賢次	700
195	沖縄	県立辺土名高等学校	7/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里 稔	140
196	新潟	県立新津南高等学校	7/11	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部	田邊 智哉	532
197	埼玉	県立深谷第一高等学校	7/12	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	小林 宗博	980
198	北海道	札幌手稲高等学校	7/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・札幌支部	山本 洋平	958
199	愛知	県立蒲郡東高等学校	7/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	663
200	東京	都立石神井高等学校	7/13	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・南関東支部	道家 謙太郎	279
201	香川	県立豊学校	7/13	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・九州支部	齋藤 利幸	22
202	静岡	県立藤枝北高等学校	7/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・静岡支部	永谷 和俊	620
203	高知	県立大方高等学校	7/15	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・高知支部	岩木 一晃	30
204	沖縄	県立豊見城南高等学校	7/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里 稔	550
205	兵庫	県立加古川北高等学校	7/17	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	913
206	埼玉	県立皆野高等学校	7/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	本木 昌造	113
207	神奈川	緑ヶ丘女子中学校高等学校	7/17	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・神奈川支部	奥田 恭司	117
208	東京	都立葛西南高等学校	7/17	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・南関東支部	中村 仁義	790
209	東京	都立第五商業高等学校定時制課程	7/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部	高木 孝	63
210	滋賀	県立三雲養護学校	7/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・滋賀支部	中嶋 拓也	67
211	千葉	県立船橋二和高等学校	7/17	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・南関東支部	栗山 稔朗	1,007
212	山形	県立山形養護学校	7/18	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山形支部	柏倉 保	14
213	兵庫	尼崎市琴ノ浦高等学校	7/18	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・近畿支部	橋本 昇	320
214	東京	都立本所工業高等学校	7/18	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・南関東支部	細野 幸男	50
215	沖縄	昭と薬科大学附属高等学校	7/19	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里 稔	210
216	沖縄	県立宜野湾高等学校	7/19	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・沖縄支部	山本 雄一郎	720

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
217	東京	都立江戸川高等学校	7/19	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部	善養寺 雅人	991
218	山形	県立鶴岡高等養護学校	7/26	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・山形支部	柏倉 保	37
219	山形	県立鶴岡養護学校	7/26	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山形支部	柏倉 保	60
220	福島	県立石川支援学校	7/27	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	平島 正	80
221	愛知	県立足助高等学校	8/3	高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・中部事務所	上杉 智司	10
222	和歌山	県高等学校教育研究会工業部会	8/3	地球温暖化防止と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	次世代自動車復興センター	荻野 法一	25
223	香川	英明高等学校	8/17	交通技術と社会のあり方(自動運転の現状と課題)	NAC	西村 直人	64
224	秋田	県立能代工業高等学校	8/24	地球温暖化防止と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	次世代自動車復興センター	荻野 法一	40
225	茨城	県立磯原郷英高等学校	9/4	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・茨城支部	廣瀬 翔	390
226	神奈川	川崎市立高津高等学校	9/5	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	細野 幸男	45
227	大阪	岸和田市立産業高等学校	9/6	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野 芳久	821
228	山形	和順館高等学校	9/8	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・山形支部	柏倉 保	70
229	熊本	県立松橋支援学校	9/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・熊本支部	前川 憲司	75
230	愛知	県立起工業高等学校昼間定時制(翼キャンパス)	9/12	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	225
231	大阪	関西大学北陽高等学校・中学校	9/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・大阪支部	川部 隆夫	1,606
232	宮崎	県立都城商業高等学校	9/13	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・宮崎支部	竹内 真一	522
233	埼玉	県立吹上秋桜高等学校	9/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・埼玉支部	星野 賢次	385
234	福島	県立白河第二高等学校	9/14	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福島支部	渡辺 定則	42
235	長崎	県立大村城南高等学校	9/18	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・九州支部	高橋 俊史	510
236	福岡	県立八幡中央高等学校定時制課程	9/20	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福岡支部	庄司 恭博	68
237	熊本	県立八代農業高等学校	9/21	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・熊本支部	前川 憲司	268
238	宮城	県立山高等学校	9/21	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・宮城支部	渋谷 輝明	190
239	岩手	県立軽米高等学校	9/27	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・岩手支部	青木 順哉	161
240	栃木	県立鹿沼高等学校	9/28	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・栃木支部	田村 鋭夫	700
241	福井	県立福井特別支援学校	10/1	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福井支部	伊藤 鉄平	14
242	大阪	府立箕面東高等学校	10/1	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・大阪支部	大野 芳久	563
243	沖縄	県立中部商業高等学校	10/10	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・沖縄支部	前里 清光	800
244	宮崎	県立日南高等学校	10/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・宮崎支部	竹内 真一	380
245	山梨	東海大学付属甲府高等学校	10/12	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・南関東支部	横尾 修一	800
246	広島	広島市立広島工業高等学校	10/12	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・広島支部	島崎 昌勝	782
247	鳥取	県立鳥取盲学校	10/16	交通技術と社会のあり方(自動運転の現状と課題)	NAC	西村 直人	12
248	沖縄	県立宮古工業高等学校	10/16	地球温暖化防止と自動車技術(次世代自動車とインフラ)	次世代自動車復興センター	荻野 法一	10
249	佐賀	県立伊万里高等学校	10/16	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・佐賀支部	山口 徹	624
250	宮城	県立石巻北高等学校	10/17	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・宮城支部	渋谷 輝明	550
251	秋田	県立能代工業高等学校	10/17	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・東北支部	菅野 福雄	106
252	福岡	大牟田高等学校	10/23	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	大坪 航平	406

No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
253	滋賀	滋賀学園高等学校	10/24	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・滋賀支部	上原 伸公	197
254	徳島	県立鳴門渦潮高等学校	10/26	地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車復興センター	荻野 法一	70
255	神奈川	県立逗葉高等学校	10/26	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	竹島 亜機雄	280
256	福岡	県立伝習館高等学校	10/26	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・福岡支部	佐藤 勇夫	650
257	鳥取	県立鳥取豊学校	10/31	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・鳥取支部	清水 歩	20
258	熊本	多良木高等学校	11/1	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・熊本支部	前川 憲司	67
259	新潟	県立荒川高等学校	11/7	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・北関東支部	熊倉 哲	48
260	鹿児島	喜界高等学校	11/7	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・鹿児島支部	白濱 純洋	168
261	東京	筑波大学附属駒場中等学校	11/8	交通技術と社会のあり方（自動運転の現状と課題）	ITS Japan	佐藤 昌之	162
262	沖縄	県立知念高等学校	11/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・沖縄支部	新里 稔	1,082
263	東京	筑波大学附属駒場中等学校	11/12	交通技術と社会のあり方（自動運転の現状と課題）	ITS Japan	佐藤 昌之	162
264	宮城	仙台市立仙台工業高等学校	11/13	地球温暖化防止と自動車技術（次世代自動車とインフラ）	次世代自動車復興センター	荻野 法一	198
265	秋田	県立大曲農業高等学校	11/14	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・秋田支部	横岡 彰	501
266	大阪	東大阪大学柏原高等学校	11/14	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・近畿支部	山本 武弘	250
267	福岡	県立福岡工業高等学校	11/15	自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会・九州支部	山室 隆弘	1,071
268	愛知	県立愛知商業高等学校	11/19	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・愛知支部	寺本 浩	816
269	千葉	県立香取特別支援学校	11/21	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・千葉支部	永山 栄司	27
270	福井	県立武生工業高等学校	11/27	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・北陸支部	田内 幸雄	132
271	宮城	県柴田農林高等学校川崎校	11/29	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・佐賀支部	渋谷 輝明	80
272	茨城	県立下館第一高等学校	12/3	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・南関東支部	村上 重隆	284
273	長崎	県立豊玉高等学校	12/4	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・九州支部	田邊 智哉	72
274	北海道	苫小牧工業高校定時制	12/6	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・北海道支部	荒川 昌一	102
275	大阪	府立茨木工科高等学校	12/7	交通技術と社会のあり方（自動運転の現状と課題）	ITS Japan	佐藤 昌之	12
276	山口	下関短期大学付属高等学校	12/7	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・山口支部	宮崎 秀広	198
277	愛媛	県立松山北高等学校中島分校	12/10	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・愛媛支部	権名津 博	65
278	茨城	県立結城特別支援学校	12/11	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・茨城支部	野間口 拓実	50
279	福井	県立坂井高等学校	12/12	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福井支部	伊藤 鉄平	270
280	埼玉	埼玉県立秩父農工科学高等学校	12/17	高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会・鹿児島	田中 雅宏	20
281	鹿児島	県立大島北高等学校	12/19	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・九州支部	田邊 陽一	108
282	佐賀	県立神埼高等学校	1/22	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・佐賀支部	山口 徹	250
283	北海道	福島商業高等学校	2/1	ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・札幌支部	中者 善元	18
284	岩手	県立平舘高等学校	2/5	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟・岩手支部	青木 順哉	24
285	沖縄	中部農林高等学校	2/5	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・九州支部	前里 清光	200
286	東京	都立墨田工業高等学校定時制課程	2/13	交通技術と社会のあり方（自動運転の現状と課題）	NAC	西村 直人	18
287	福岡	県立修猷館高等学校	2/21	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・福岡支部	庄島 恭博	840
288	東京	都立小川高等学校	3/13	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・東京支部	谷 宗一郎	640



No.	都道府県	主催	月日	テーマ	講師名(敬称略)		参加人数
289	山口	県立岩国高等学校坂上分校	3/13	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会・中国支部	津森 正裕	58
290	千葉	県立柏井高等学校	3/18	自転車・歩行者から見た道路交通と安全	日本自動車連盟・千葉支部	永山 栄司	1,300
291	埼玉	県立宮代高等学校	3/18	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・埼玉支部	井平 高史	420
292	千葉	県立市川南高等学校	3/19	ドライバー(自動車)からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全	日本自動車連盟・千葉支部	永山 栄司	326
交通社会 教育計	—	—	—	—	—	—	112,062
自動車技術 教育計	—	—	—	—	—	—	1,322
総合計	—	—	—	—	—	—	113,384

【資料2】平成30年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況

(敬称略)

1)青 森

日時/場所		10/10 13:00-14:30 / 青森県自動車会議所 3F 大ホール		
出席者	来 賓	青森県教育庁 学校教育課 高等学校指導グループ	指導主事	福士 貴博
	学 校 関 係 者	青 森 県 立 青 森 工 業 高 等 学 校	教 諭	奈良 頼弘
		青 森 県 立 弘 前 工 業 高 等 学 校	教 頭	山田 誠
		同 上	教 諭	小田桐成登
		青 森 県 立 む つ 工 業 高 等 学 校	校 長	蝦名 博
出席者	協 議 会 関 係 者	弘 前 東 高 等 学 校	教 諭	藤森 公康
		(一社)日本自動車販売協会連合会 青森県支部	支 部 長	小野 大介
		同 上	専務理事	石川 善孝
		青 森 県 軽 自 動 車 協 会	会 長	佐々木 聡
	マスコミ	(一社)日 本 自 動 車 連 盟 青 森 支 部 事 務 所 長 鏡 山 淳 志 (一社)日 本 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会 青 森 県 支 部 事 務 局 長 代 理 大 久 保 直 樹 (公財)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団 部 長 桐 山 功		
日刊自動車新聞社、陸奥新報社、東奥日報社、RAB 青森放送				

2)滋 賀

日時/場所		10/17 13:00-14:30 / 琵琶湖ホテル 3F グリーン		
出席者	来 賓	滋賀県教育委員会事務局 高校教育課	指導主事	金田 知也
	学 校 関 係 者	滋 賀 県 立 瀬 田 工 業 高 等 学 校	校 長	中島 千明
		同 上	教 諭	大野 良太
		滋 賀 県 立 長 浜 北 星 高 等 学 校	校 長	杉澤 和雄
		同 上	教 諭	西村 昇構
出席者	協 議 会 関 係 者	滋 賀 県 立 八 幡 工 業 高 等 学 校	教 諭	横江 英彦
		(一社)日本自動車販売協会連合会 滋賀県支部	支 部 長	山中隆太郎
		同 上	専務理事	井戸木 亘
		(一社)滋 賀 県 自 動 車 整 備 振 興 会	会 長	竹内 貢
	マスコミ	同 上 常 務 理 事 中 谷 恒 夫 (一社)日 本 自 動 車 連 盟 滋 賀 支 部 事 務 所 長 時 任 英 樹 (一社)日 本 損 害 保 険 協 会 近 畿 支 部 事 務 局 長 小 峯 雅 也 (一社)日 本 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会 滋 賀 県 支 部 総 務 課 係 長 井 上 敦 子 (公財)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団 部 長 桐 山 功		
日刊自動車新聞社				

3)宮 城

日時/場所		10/31 13:00-14:30 / ホテルメトロポリタン仙台 3F 曙西		
出席者	学 校 関 係 者	宮 城 県 村 田 高 等 学 校	教 諭	青木 孝輔
		宮 城 県 登 米 総 合 産 業 高 等 学 校	教 諭	下地 邦仁
		宮 城 県 黒 川 高 等 学 校	教 諭	津田 哲志
		宮 城 県 気 仙 沼 向 洋 高 等 学 校	校 長	佐藤 浩
	出席者	協 議 会 関 係 者	同 上	教 諭
宮 城 県 工 業 高 等 学 校			教 諭	佐々木元克
宮 城 県 白 石 工 業 高 等 学 校			教 諭	齋藤 健
宮 城 県 石 巻 工 業 高 等 学 校			校 長	澁谷 貴彦
マスコミ		同 上 教 諭 佐 々 木 智 鶴 宮 城 県 古 川 工 業 高 等 学 校 定 時 制 教 諭 伊 藤 篤 仙 台 市 立 仙 台 工 業 高 等 学 校 教 諭 柳 瀬 克 紀 仙 台 市 立 仙 台 工 業 高 等 学 校 定 時 制 教 諭 菅 原 史 裕 同 上 実 習 助 手 本 村 恭 一 (一社)日本自動車販売協会連合会 宮城県支部 支 部 長 後 藤 誠 同 上 専 務 理 事 菊 池 憲 満 (一社)宮 城 県 自 動 車 整 備 振 興 会 専 務 理 事 長 谷 川 茂 宮 城 県 軽 自 動 車 協 会 専 務 理 事 船 生 弘 隆 (一社)日 本 自 動 車 連 盟 宮 城 支 部 事 務 所 長 小 島 雄 一 同 上 事 業 課 長 村 上 直 樹 (一社)日 本 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会 宮 城 県 支 部 総 務 部 長 七 宮 克 浩 同 上 業 務 課 主 任 島 奈 穂 美 (公財)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団 部 長 桐 山 功		
日刊自動車新聞社				

4)大 阪

日時/場所		11/2 13:00-14:30 / リーガロイヤルホテル大阪 2F 楓の間
来 賓	大阪府 教育庁 教育振興室 高等学校課 教務グループ	首席指導主事 植木 信博
出席者	大 阪 府 立 福 井 高 等 学 校	校 長 富永 誠
	同 上	教 諭 奥村 恵生
	大 阪 府 立 西 野 田 工 科 高 等 学 校	校 長 諭 富田 公一
	同 上	教 諭 梅本 昌敬
	大 阪 府 立 淀 川 工 科 高 等 学 校	校 長 諭 阿部 政之
	同 上	教 諭 岡野 一也
	大 阪 府 立 今 宮 工 科 高 等 学 校	教 諭 丸下 智弘
	大 阪 府 立 茨 木 工 科 高 等 学 校 定 時 制	准 校 長 清水 智
	同 上	教 諭 高橋 雅弥
	大 阪 府 立 堺 工 科 高 等 学 校	校 長 諭 加島 良彦
	同 上	教 諭 尾崎 公哉
	大 阪 府 立 佐 野 工 科 高 等 学 校	校 長 諭 山本 好男
	同 上	教 諭 赤穂 遼
	大 阪 府 立 和 泉 総 合 高 等 学 校	主 任 諭 館 学
	大 阪 府 立 和 泉 総 合 高 等 学 校 定 時 制	准 校 長 諭 山野 正善
	同 上	首 席 諭 清水 巧
	大 阪 府 立 だ い せ ん 聴 覚 高 等 支 援 学 校	校 長 諭 藤原 彰子
	同 上	教 諭 中島 武彦
堺 市 立 堺 高 等 学 校 定 時 制	准 校 長 諭 水田 秀一	
同 上	教 諭 鴉 徹	
大 阪 市 立 都 島 工 業 高 等 学 校	校 長 諭 大内 維人	
同 上	主 務 教 諭 池本 泰幸	
大 阪 市 立 生 野 工 業 高 等 学 校	校 長 諭 板垣 秀和	
同 上	教 諭 大島 泰	
星 翔 高 等 学 校	校 長 諭 辻井 安喜	
同 上	学 科 長 竹市 敏治	
協議会 関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会大阪府支部	支 部 長 堀内 俊樹
	同 上	専 務 理 事 柳田 重利
	(一社)大阪府自動車整備振興会	常 務 理 事 原 一雄
	大 阪 府 軽 自 動 車 協 会	専 務 理 事 山野 正昭
	(一社)日本自動車連盟大阪支部	事 業 課 長 加藤 金也
	(一社)日本損害保険協会近畿支部	事 務 局 長 小峯 雅也
(一社)日本自動車販売協会連合会大阪府支部		今村まゆ美
(公財)日本自動車教育振興財団	常 務 理 事 有賀 潔	
マスコミ	日 刊 自 動 車 新 聞 社	

## 5) 兵庫

日時/場所		11/5 13:00-14:30 / ANAクラウンプラザホテル神戸		
出席者	来賓	兵庫県教育委員会事務局 高校教育課	指導主事	前田 芳孝
	学校関係者	兵庫県立兵庫工業高等学校	校長	大川 真澄
		同上	機械工学科長	小幡 真之
		兵庫県立神戸工業高等学校	校長	愛川 弘市
		同上	機械科長	濱田 学
		兵庫県立尼崎工業高等学校	機械科教諭	竹村 吉弘
		兵庫県立武庫荘総合高等学校	教頭	早川 千也
		同上	工業部長	大野 博史
		兵庫県立東播工業高等学校	校長	楠 芳一
		同上	機械科教諭	山内 拓男
兵庫県立姫路工業高等学校		校長	三輪 智英	
兵庫県立飾磨工業高等学校		校長	小池 孝	
同上		機械工学科教諭	小谷 倫正	
兵庫県立飾磨工業高等学校 多部制		工学科教諭	藤田 伸之	
兵庫県立洲本実業高等学校		機械科教諭	大山 博康	
尼崎市立尼崎双星高等学校	校長	谷 清隆		
神戸市立神戸工科高等学校 定時制	校長	白石 龍市		
同上	工業技術科教諭	津村 謙二		
神戸村野工業高等学校	校長	吉田 耕造		
同上	機械科教諭	山下 浩司		
協議会関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会兵庫県支部	支部長	西川 博之	
	(一社)兵庫県自動車整備振興会	常務理事	田中 護	
	兵庫県軽自動車協会	専務理事	中村 英明	
	(一社)日本自動車連盟兵庫県支部	事務所長	奥川 雅也	
	(一社)日本損害保険協会近畿支部	事務局長	小峰 雅也	
	(一社)日本自動車販売協会連合会兵庫県支部	専務理事	木村 淳三	
(公財)日本自動車教育振興財団	専務理事	上橋 義弘		
マスコミ	日刊自動車新聞、カーニュース兵庫			

## 6) 三重

日時/場所		11/6 13:00-14:30 / ホテルグリーンパーク津 6F 葵・橘		
出席者	来賓	三重県教育委員会 高校教育課	指導主事	稲濱 章誠
	学校関係者	三重県立四日市工業高等学校	校長	竹内 均
		同上	科長	小野日出士
		三重県立四日市工業高等学校 定時制	科長	浅川 裕之
		三重県立四日市中央工業高等学校	校長	岡村 芳成
		同上	機械科教諭	永戸晋太郎
		三重県立津工業高等学校	校長	田淵 元章
		同上	機械科教諭	見並 宏紀
		三重県立松阪工業高等学校	校長	宮下 昌彦
		同上	自動車科主任	杉谷 直紀
三重県立伊勢工業高等学校		教頭	岡山 隆文	
同上		機械科教諭	柳瀬 伸彦	
三重県立伊賀白鳳高等学校		校長	村田 武俊	
同上		進路指導主事	茂手木博人	
三重県立尾鷲高等学校		システム工学科長	橋本 貴明	
協議会関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会三重県支部	支部長	岩井 純朗	
	(一社)三重県自動車整備振興会	専務理事	中原 拓	
	(一社)日本自動車連盟三重支部	事務所長	玄奥 郷士	
	(一社)日本自動車販売協会連合会三重県支部	専務理事	福田 泰尚	
	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	山本 実	
マスコミ	日刊自動車新聞社、整備新聞			

## 7) 奈良

日時/場所		11/13 13:00-14:30 / 奈良県立王寺工業高等学校		
出席者	来賓	奈良県教育委員会事務局 学校教育課	高校教育係長	大橋 淳
	学校関係者	奈良県立奈良朱雀高等学校	教諭(係長)	松村 裕次
		奈良県立王寺工業高等学校	校長	和田 俊廣
		同	教頭	住本 裕一
同		教諭(係長)	今村 文宣	
協議会関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会奈良県支部	専務理事	辻 隆範	
	同	総務係長	中村 義行	
マスコミ	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	桐山 功	
	日刊自動車新聞社			

## 8) 福島

日時/場所		11/14 13:00-14:30 / 福自販会館			
出席者	来賓	福島県教育庁 高校教育課	課長	小島 稔	
	学校関係者	同	同	主任指導主事	鈴木 憲治
		福島県立福島工業高等学校	校長	松本 明倫	
		福島県立川俣高等学校	校長	山内 義美	
		同	教諭	菅野 幸治	
		福島県立二本松工業高等学校	校長	高梨 哲夫	
		同	機械システム係長	山口 真二	
		福島県立郡山北工業高等学校	校長	澁谷 栄一	
		同	教諭	佐藤 泰仙	
		福島県立清陵情報高等学校	校長	佐藤 恵一	
		同	教諭	上杉 則夫	
		福島県立塙工業高等学校	校長	佐藤 浩正	
		同	教諭	片山 龍	
		福島県立平工業高等学校	校長	鈴木 康隆	
		同	教諭	芳賀 広一	
		福島県立勿来工業高等学校	校長	富樫 実	
同	教諭	鴻巣 尊			
福島県立ふたば未来学園高等学校	教頭	山本 健弘			
同	教諭	佐藤 隆志			
福島県立小高産業技術高等学校	校長	鈴木 稔			
同	教諭	永峯 宏彦			
協議会関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会福島県支部	支部長	佐藤 修朗		
	同	専務理事	菊地 邦幸		
	(一社)福島県自動車整備振興会	専務理事	小野 隆		
	(一社)日本自動車連盟福島支部	事務所長	菅野 英明		
同	交通係長	富澤 亮人			
マスコミ	(公財)日本自動車教育振興財団	常務理事	有賀 潔		
	テレビユー福島(TBS系列)、福島民報、福島民友新聞、日刊自動車新聞				

## 9) 和歌山

日時/場所		11/14 13:00-14:30 / 和歌山県立和歌山工業高等学校 校長室		
出席者	学校関係者	和歌山県立和歌山工業高等学校	校長	田村 光穂
	同	同	教頭	村崎 隆志
	同	同	科長	雪谷 俊之
	同	同	教諭	田中 昌
協議会関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会和歌山県支部	専務理事	大蔵 留治	
	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	桐山 功	
マスコミ	和歌山新報社			

## 10) 岐 阜

日時/場所		11/15 13:00-14:30 / 岐阜キャッスルイン 末広の間 (東)		
出席者	学校関係者	岐阜県立岐南工業高等学校	校長	田中 克久
		同 上	自動車科主任	三輪 照導
		岐阜県立岐阜工業高等学校	教 頭	棚橋 毅
		同 上	教 諭	濱口信太郎
		岐阜県立岐阜工業高等学校 定時制	副 校 長	武藤 芳紀
		同 上	工業技術主任	高橋 宏幸
		岐阜県立多治見工業高等学校	校 長	有賀 昭人
		同 上	教 諭	長島 栄次
		岐阜県立中津川工業高等学校	校 長	片岡 基靖
		同 上	教 諭	森井 吉生
	関 市 立 関 商 工 高 等 学 校	校 長	正村 達裕	
	同 上	教 諭	藤井 博文	
協議会関係者	岐阜 第 一 高 等 学 校	工業科主任	近藤 英寿	
	(一社)日本自動車販売協会連合会岐阜県支部	支 部 長	村瀬 洋介	
	(一社)岐阜県自動車整備振興会	教育部部長	大野 克己	
	(一社)日本自動車販売協会連合会岐阜県支部	専務理事	小野 武	
	同 上	事務局長	藤川 正人	
マスコミ	(公財)日本自動車教育振興財団	主 任	大園 智美	
	日刊自動車新聞社、岐阜新聞社	部 長	山本 実	

## 11) 静 岡

日時/場所		11/21 13:00-14:30 / ホテルセンチュリー静岡		
出席者	来 賓	静岡県教育委員会 高校教育課	教育主幹	松下 直由
	学校関係者	静岡県立伊豆総合高等学校	教 頭	増田 陽一
		同 上	教 諭	小谷 安孝
		静岡県立御殿場高等学校	教 諭	坂本 貴志
		静岡県立吉原工業高等学校	教 諭	稲葉 将光
		静岡県立富岳館高等学校	副 校 長	川口 利浩
		同 上	教 諭	小田 芳仁
		静岡県立科学技術高等学校	校 長	遠藤 克則
		同 上	教 諭	石川 好宏
		静岡県立小笠高等学校	教 頭	是永 博基
		同 上	教 諭	平岡 祐太
	静岡県立浜松城北工業高等学校	教 諭	平野 公司	
静岡県立浜松湖北高等学校	教 諭	佐藤 雅年		
協議会関係者	飛 龍 高 等 学 校	校 長	坂根 英夫	
	同 上	教 諭	生野 正弘	
	(一社)日本自動車販売協会連合会静岡県支部	支 部 長	杉山 智彦	
	同 上	専務理事	平川 君男	
	(一社)静岡県自動車整備振興会	専務理事	山下 富治	
マスコミ	静岡県軽自動車協会	専務理事	大塚 好央	
	(一社)日本損害保険協会中部支部	事務局長	北川 裕司	
	(一社)日本自動車販売協会連合会静岡県支部	総務部総務課長	海野 尚彦	
	同 上	総務部総務課	堀池 温子	
(公財)日本自動車教育振興財団	部 長	桐山 功		
静岡 岡 新 聞 社				

## 12) 京 都

日時/場所		11/26 13:00-14:30 / 京都東急ホテル 1F 若宮		
出席者	来 賓	京都府教育委員会 高校教育課	指導主事	堀内 洋平
	学校関係者	京都府立田辺高等学校	校 長	今井 雅之
		同 上	自動車科科长	中森 耕平
		京都府立工業高等学校	副 校 長	溝口 睦久
	同 上	教 諭	中野 保明	
協議会関係者	(一社)日本自動車販売協会連合会京都府支部	専務理事	小寺 雅夫	
	(一社)京都府自動車整備振興会	専務理事	徳田 悦生	
	(公財)日本自動車教育振興財団	部 長	山本 実	
マスコミ	日刊自動車新聞社、京都自動車新聞			

13)茨 城

日時/場所		11/28 13:00-14:30 / 茨自販福祉センター		
出席者	来 賓	茨城県教育庁 学校教育課 高校教育課	指導主事	田中 一豪
	学 校 関 係 者	茨 城 県 立 高 萩 清 松 高 等 学 校	主 任	古川 博文
		茨 城 県 立 水 戸 工 業 高 等 学 校	校 長	宇佐美 浩
		同	教 諭	安藤 正宏
		茨 城 県 立 玉 造 工 業 高 等 学 校	教 諭	松田 文一
		同	教 諭	富田 孝
		茨 城 県 立 波 崎 高 等 学 校	教 頭	高橋 秀樹
		同	教 諭	安藤 成男
		茨 城 県 立 江 戸 崎 総 合 高 等 学 校	校 長	大和田 淳
	協 議 会 関 係 者	同	上	教 諭
茨 城 県 立 八 千 代 高 等 学 校		主 任	小 平 利 昭	
(-社)日本自動車販売協会連合会茨城県支部		支 部 長	幡谷 定俊	
同		上	専務理事	市川 昌幸
(-社)茨城県自動車整備振興会		会 長	宮崎 一雄	
同		上	専務理事	楠 政則
茨 城 県 軽 自 動 車 協 会		会 長	大槻 直樹	
マスコミ	同	上	専務理事	福地 隆
	(-社)日 本 自 動 車 連 盟 茨 城 支 部	支 部 長	加藤 敏彦	
	同	上	事務所長	森田 光幸
	(-社)日本自動車販売協会連合会茨城県支部	総務部長	佐藤 豊	
(公財)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団	部 長	桐山 功		
日 刊 自 動 車 新 聞 社				

14)愛 知

日時/場所		12/3 13:00-14:30 / キャッスルプラザ			
出席者	来 賓	愛知県教育委員会 高等学校教育課 職業指導グループ	主 査	加藤 満明	
	学 校 関 係 者	愛 知 県 立 春 日 井 工 業 高 等 学 校	教 頭	小川 義雄	
		同	上	兼松 和弘	
		愛 知 県 立 小 牧 工 業 高 等 学 校	教 諭	渡邊 立章	
		愛 知 県 立 起 工 業 高 等 学 校	主 任	鶴飼 秀明	
		愛 知 県 立 豊 田 工 業 高 等 学 校	校 長	水井 久	
		同	上	主任	小笠原裕文
		名 古 屋 市 立 工 業 高 等 学 校	科 長	本田 健児	
		名 古 屋 市 立 工 業 高 等 学 校 定 時 制	教 頭	出原 竜彦	
		同	上	教 諭	藤川 龍司
名 古 屋 市 立 工 芸 高 等 学 校		教 頭	佐藤 恒徳		
協 議 会 関 係 者	同	上	教 諭	井上 守正	
	愛 知 工 業 大 学 名 電 高 等 学 校	教 頭	中村 栄一		
	同	上	主任	小島 勉	
	愛 知 産 業 大 学 工 業 高 等 学 校	校 長	長谷川 昌		
	同	上	教 諭	石原 裕基	
	名 古 屋 工 業 高 等 学 校	教 諭	江原 健紀		
	(-社)愛知県自動車整備振興会	会 長	坪内 協致		
愛 知 県 軽 自 動 車 協 会	会 長	伊藤 敏男			
(-社)日本自動車販売協会連合会愛知県支部	専務理事	浅野 忠信			
(-社)愛知県自動車整備振興会	専務理事	柴田 年輝			
(-社)日 本 自 動 車 連 盟 愛 知 支 部	事務所長	井上 光			
同	上	事業課長	吉野 嘉高		
(-社)日本自動車販売協会連合会愛知県支部	総務部長	桐山 功			
(公財)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団	部 長				
日 刊 自 動 車 新 聞 社、整備新聞社					

## 15)岩手

日時/場所	12/5 13:00-14:30 / ホテルメトロポリタン盛岡 本館 4F りんどう		
出席者	来賓	岩手県教育委員会事務局 学校調整課	主任指導主事 小野寺秀樹
	学校関係者	岩手県立黒沢尻工業高等学校	副校長 八重樫大希
		同 上	機械科科长 伊藤 研志
		岩手県立大船渡東高等学校	校長 川村 俊彦
	同 上	教諭 久保田晋太郎	
協議会関係者	(社)日本自動車販売協会連合会岩手県支部	専務理事 山口 正	
	同 上	事務局次長 宮野 和之	
	(公財)日本自動車教育振興財団	部長 桐山 功	
マスコミ	日刊自動車新聞社、岩手日報社、岩手日日新聞社、テレビ岩手、IBC岩手放送		



## 平成30年度事業報告附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条に規定する事項は存在しない。

公益財団法人 日本自動車教育振興財団